

県民世論調査

阿部県政 15 年

報告書

（2025年7月16日～8月19日調査）

| | | |
|-----|--------------|----|
| I | 目的・設計・回答状況 | 1 |
| II | 調査結果 (i)単純集計 | 4 |
| | (ii)概要 | 7 |
| | (iii)集計表 | 28 |
| | (iv)記述回答 | 48 |
| III | 調査票 | 53 |



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<https://www.nagano-yoron.or.jp>

本ホームページでは、報告書の一部を抜粋して掲載しています。長野県世論調査協会の会員の皆様には、報告書を郵送・電子メールでお届けしており、全ての調査結果をご覧いただくことができます。入会のお問い合わせは、[こちら](#)へどうぞ

I 目的・設計・回答状況

◆ 目的

阿部守一・長野県知事は現在4期目の任期中であり、今年8月末には残り任期が1年となります。阿部県政は2010年の発足から15年を迎えました。当協会では例年この時期に、県政に関する世論調査を実施しており、今回もその一環として調査を行いました。

本調査は、県民が県政をどのように評価しているか、また今後どのような施策を望んでいるかを把握し、県政のより良い方向性を考える契機とすることを目的としています。

◆ 設計

- ▽調査期間 2025（令和5）年7月16日（調査票発送）～8月19日（回収締め切り）
- ▽調査対象 長野県内に住む18歳以上の男女1,500人
- ▽抽出方法 層化三段無作為抽出法。市町村の選挙人名簿から無作為抽出
- ▽調査地点 19市10町10村の計39市町村
- ▽調査方法 郵送方式。調査票を郵送、回答は郵送、インターネット、ファクスで回収

◆ 回答状況

- ▽有効回答 891人（男性410人 女性462人 回答しない19人）
- ▽回答率 59.4%

[回収方法別の内訳]（ ）内は比率

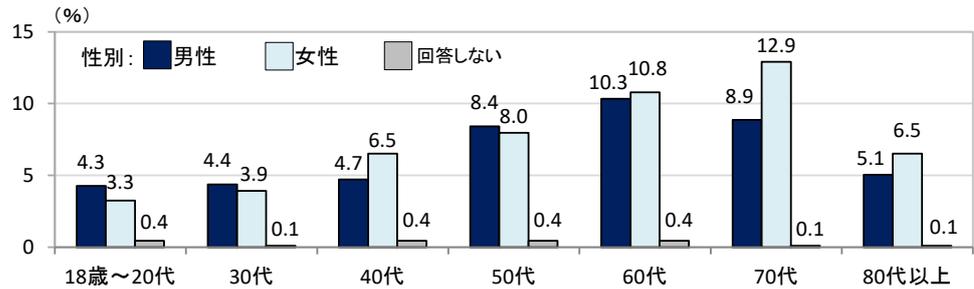
- ・郵送 643人（72.2%）
- ・インターネット 221人（24.8%）
- ・ファクス 27人（3.0%）

【注】本報告書のパーセント数字は小数点第二位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

有効回答の内訳

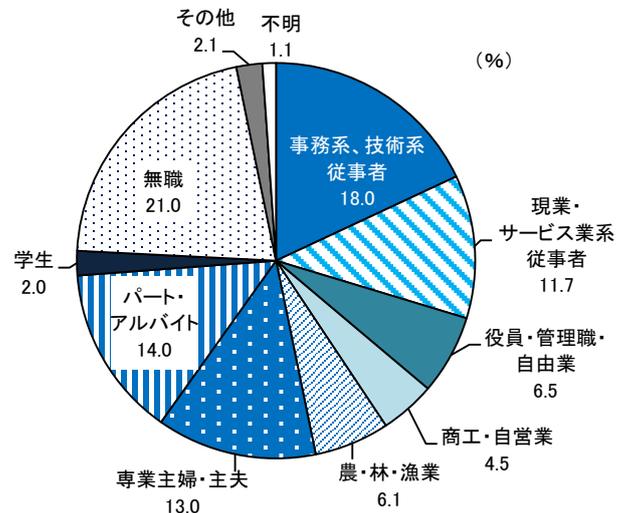
【年代と性別】

| | | 合計 | 18歳～20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代以上 | |
|----|-------|-------|---------|-----|------|------|------|------|-------|-----|
| 全体 | (人) | 891 | 71 | 75 | 104 | 150 | 192 | 195 | 104 | |
| | (%) | 100.0 | 8.0 | 8.4 | 11.7 | 16.8 | 21.5 | 21.9 | 11.7 | |
| 性別 | 男性 | (人) | 410 | 38 | 39 | 42 | 75 | 92 | 79 | 45 |
| | | (%) | 46.0 | 4.3 | 4.4 | 4.7 | 8.4 | 10.3 | 8.9 | 5.1 |
| | 女性 | (人) | 462 | 29 | 35 | 58 | 71 | 96 | 115 | 58 |
| | | (%) | 51.9 | 3.3 | 3.9 | 6.5 | 8.0 | 10.8 | 12.9 | 6.5 |
| | 回答しない | (人) | 19 | 4 | 1 | 4 | 4 | 4 | 1 | 1 |
| | | (%) | 2.1 | 0.4 | 0.1 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.1 | 0.1 |

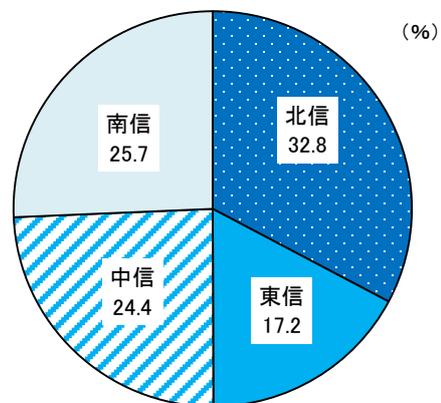


【職業】

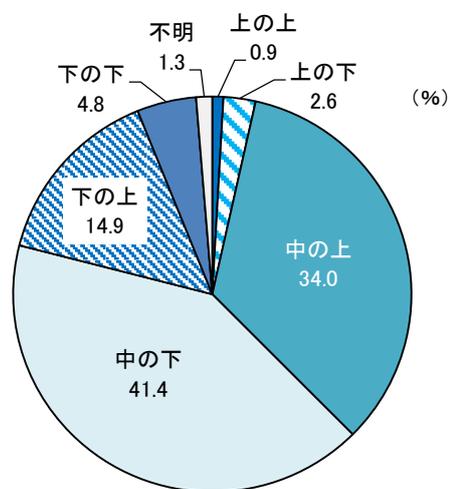
| | (人) | (%) |
|--------------|-----|-------|
| 事務系・技術系従事者 | 160 | 18.0 |
| 現業・サービス業系従事者 | 104 | 11.7 |
| 役員・管理職・自由業 | 58 | 6.5 |
| 商工・自営業 | 40 | 4.5 |
| 農・林・漁業 | 54 | 6.1 |
| 専業主婦・主夫 | 116 | 13.0 |
| パート・アルバイト | 125 | 14.0 |
| 学生 | 18 | 2.0 |
| 無職 | 187 | 21.0 |
| その他 | 19 | 2.1 |
| 不明 | 10 | 1.1 |
| 全体 | 891 | 100.0 |



| 【地域】 | (人) | (%) |
|------|-----|-------|
| 北信 | 292 | 32.8 |
| 東信 | 153 | 17.2 |
| 中信 | 217 | 24.4 |
| 南信 | 229 | 25.7 |
| 全体 | 891 | 100.0 |



| 【暮らし向き】 | (人) | (%) |
|---------|-----|-------|
| 上の上 | 8 | 0.9 |
| 上の下 | 23 | 2.6 |
| 中の上 | 303 | 34.0 |
| 中の下 | 369 | 41.4 |
| 下の上 | 133 | 14.9 |
| 下の下 | 43 | 4.8 |
| 不明 | 12 | 1.3 |
| 全体 | 891 | 100.0 |



Ⅱ 調査結果

(i) 単純集計

問1 あなたは、長野県の経済や県民の暮らし向きの現状について、全体としてどのように受け止めていますか。

| | (人) | (%) |
|----------------|-----|------|
| ・とても良い | 45 | 5.1 |
| ・まあ良い | 450 | 50.5 |
| ・あまり良くない | 248 | 27.8 |
| ・全く良くない | 32 | 3.6 |
| ・何とも言えない・わからない | 115 | 12.9 |
| ・不明 | 1 | 0.1 |

問2 あなたは、阿部知事を支持しますか、支持しませんか。

| | (人) | (%) |
|----------------|-----|------|
| ・支持する | 281 | 31.5 |
| ・どちらかと言えば支持する | 400 | 44.9 |
| ・どちらかと言えば支持しない | 45 | 5.1 |
| ・支持しない | 17 | 1.9 |
| ・何とも言えない・わからない | 143 | 16.0 |
| ・不明 | 5 | 0.6 |

問3A (問2で「支持する」「どちらかと言えば支持する」と答えた方にお尋ねします)あなたが、阿部知事を支持する最も大きな理由は何ですか。

| | (人) | (%) |
|-----------------|-----|------|
| ・大きな問題がないから | 487 | 71.5 |
| ・具体的な成果を上げているから | 151 | 22.2 |
| ・特色のある仕事をしているから | 23 | 3.4 |
| ・その他 | 17 | 2.5 |
| ・不明 | 3 | 0.4 |

問3B (問2で「どちらかと言えば支持しない」「支持しない」と答えた方にお尋ねします)あなたが、阿部知事を支持しない最も大きな理由は何ですか。

| | (人) | (%) |
|------------------|-----|------|
| ・具体的な成果を上げていないから | 33 | 53.2 |
| ・特色のある仕事をしていないから | 14 | 22.6 |
| ・問題が目立つから | 3 | 4.8 |
| ・その他 | 7 | 11.3 |
| ・不明 | 5 | 8.1 |

問4 あなたは日ごろ長野県政を身近に感じていますか、いませんか。

| | (人) | (%) |
|----------------|-----|------|
| ・とても身近に感じている | 43 | 4.8 |
| ・ある程度身近に感じている | 288 | 32.3 |
| ・あまり身近に感じていない | 391 | 43.9 |
| ・全く身近に感じていない | 93 | 10.4 |
| ・何とも言えない・わからない | 71 | 8.0 |
| ・不明 | 5 | 0.6 |

問5 阿部知事は現在4期目で、阿部県政は8月末で丸15年となります。来夏には県知事選が控えていますが、選挙に関して、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

| | (人) | (%) |
|----------------------------|-----|------|
| ・どのような人が立候補するかを見て、総合的に判断する | 452 | 50.7 |
| ・阿部知事に期待する | 321 | 36.0 |
| ・他の立候補者に期待する | 47 | 5.3 |
| ・その他 | 9 | 1.0 |
| ・何とも言えない・わからない | 58 | 6.5 |
| ・不明 | 4 | 0.4 |

問6 阿部県政は、どんな施策に力を入れるべきだと思いますか。次の中から、4つ以内で選んでください。

| | (人) | (%) |
|-------------------|-----|------|
| ・景気・雇用 | 480 | 53.9 |
| ・福祉・介護・医療 | 472 | 53.0 |
| ・物価高対策 | 430 | 48.3 |
| ・教育・子育て支援 | 428 | 48.0 |
| ・人口減少対策 | 338 | 37.9 |
| ・地域公共交通の存続、発展 | 270 | 30.3 |
| ・環境・エネルギー政策 | 206 | 23.1 |
| ・農林業の振興 | 206 | 23.1 |
| ・防災 | 175 | 19.6 |
| ・製造業の振興 | 99 | 11.1 |
| ・行財政改革 | 92 | 10.3 |
| ・インバウンド(訪日客)の受け入れ | 71 | 8.0 |
| ・感染症対策 | 22 | 2.5 |
| ・その他 | 20 | 2.2 |
| ・何とも言えない・わからない | 12 | 1.3 |
| ・不明 | 2 | 0.2 |

問7 長野県は、県政運営の指針である総合計画「しあわせ信州創造プラン3.0」(2023~27年度の5カ年)に、次の8つの「新時代創造プロジェクト」を掲げており、本年度は折り返しの年に当たります。プロジェクトから、あなたが特に期待したいと思うものがあれば、2つ以内で選んでください。

| | (人) | (%) |
|-------------------|-----|------|
| ・人口減少下における人材確保 | 316 | 35.5 |
| ・女性・若者から選ばれる県づくり | 301 | 33.8 |
| ・県内移動の利便性向上 | 272 | 30.5 |
| ・輝く農山村地域創造 | 256 | 28.7 |
| ・デジタル・最先端技術活用推進 | 120 | 13.5 |
| ・世界で稼ぎ地域が潤う経済循環実現 | 116 | 13.0 |
| ・個別最適な学びへの転換 | 81 | 9.1 |
| ・ゼロカーボン加速化 | 64 | 7.2 |
| ・期待するものはない | 22 | 2.5 |
| ・何とも言えない・わからない | 46 | 5.2 |
| ・不明 | 7 | 0.8 |

問8 長野県の観光振興について、うかがいます。長野県は「世界水準の山岳高原観光地づくり」を目指していますが、長野県の観光地としての魅力を高めるために、あなたが、特に力を入れるべきだと思う施策を、次の中から、3つ以内で選んでください。

| | (人) | (%) |
|----------------------------|-----|------|
| ・自然環境保全活動の推進 | 406 | 45.6 |
| ・拠点の駅や空港から観光地までの交通の確保 | 347 | 38.9 |
| ・観光地の廃屋撤去や沿道の樹木伐採による景観整備 | 313 | 35.1 |
| ・オーバーツーリズム(観光公害)対策 | 279 | 31.3 |
| ・インバウンド(訪日客)向けの観光案内の充実 | 178 | 20.0 |
| ・登山道の維持・管理 | 171 | 19.2 |
| ・ガイドやDMO(観光地域づくり法人)などの人材育成 | 141 | 15.8 |
| ・バックカントリーなどを含む山岳遭難防止対策 | 133 | 14.9 |
| ・伝統的工芸品などの体験アクティビティ化 | 124 | 13.9 |
| ・県外、海外へのデジタルマーケティングによる発信 | 115 | 12.9 |
| ・宿泊施設のバリアフリー化や上質化 | 100 | 11.2 |
| ・その他 | 11 | 1.2 |
| ・観光地としての魅力を高める必要はない | 5 | 0.6 |
| ・何とも言えない・わからない | 32 | 3.6 |
| ・不明 | 5 | 0.6 |

問9 長野県は、2026年6月から県内の旅館やホテルに宿泊した人から一定額を徴収する「宿泊税」の導入を決めました。税収は観光振興に充て、一部を市町村に県交付金として支給し、地域ごとに取り組む施策の財源とする考えです。あなたはこうした県の政策を支持しますか、それとも支持しませんか。

| | (人) | (%) |
|----------------|-----|------|
| ・支持する | 432 | 48.5 |
| ・どちらかと言えば支持する | 273 | 30.6 |
| ・どちらかと言えば支持しない | 64 | 7.2 |
| ・支持しない | 41 | 4.6 |
| ・何とも言えない・わからない | 77 | 8.6 |
| ・不明 | 4 | 0.4 |

問10 長野県の観光を盛んにすることによって、県内経済全体への波及効果は、どの程度あると思いますか。

| | (人) | (%) |
|----------------|-----|------|
| ・とてもあると思う | 235 | 26.4 |
| ・ある程度あると思う | 538 | 60.4 |
| ・あまりないと思う | 55 | 6.2 |
| ・全くないと思う | 8 | 0.9 |
| ・何とも言えない・わからない | 47 | 5.3 |
| ・不明 | 8 | 0.9 |

問11 長野県の人口は2024年2月におよそ半世紀ぶりに200万人を下回りました。2001年の222万人をピークに減少が続いています。県として、どのような少子高齢化対策・人口減少対策を進めるべきだと思いますか。次の中から、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

| | (人) | (%) |
|------------------------------|-----|------|
| ・市町村に対する財政的支援や制度設計などを主導的に進める | 421 | 47.3 |
| ・市町村や民間団体との連携を強化・支援する | 259 | 29.1 |
| ・県民一人ひとりの意識改革を促す啓発活動を行う | 128 | 14.4 |
| ・対策を進める必要はない | 19 | 2.1 |
| ・その他 | 46 | 5.2 |
| ・不明 | 18 | 2.0 |

問12 長野県は2024年の都道府県別ジェンダーギャップ(男女格差)指数で、政治分野で全国19位、行政22位、教育15位、経済26位でした。県の「人口戦略」は、2030年までに各項目を全国の上位10位以内に引き上げることを掲げ、性別による固定的な役割や格差解消に向け、職場や地域の取り組みを強化するとしています。あなたは長野県の施策によって、これらの目標がどの程度実現できると思いますか。

| | (人) | (%) |
|----------------|-----|------|
| ・大いに実現できると思う | 34 | 3.8 |
| ・ある程度実現できると思う | 340 | 38.2 |
| ・あまり実現できないと思う | 330 | 37.0 |
| ・全く実現できないと思う | 28 | 3.1 |
| ・何とも言えない・わからない | 150 | 16.8 |
| ・不明 | 9 | 1.0 |

問13 長野県は、2050年までに県内の二酸化炭素(CO₂)排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボン(脱炭素)」達成を目指しています。あなたは、これを支持しますか、支持しませんか。

| | (人) | (%) |
|----------------|-----|------|
| ・支持する | 347 | 38.9 |
| ・どちらかと言えば支持する | 350 | 39.3 |
| ・どちらかと言えば支持しない | 47 | 5.3 |
| ・支持しない | 33 | 3.7 |
| ・何とも言えない・わからない | 102 | 11.4 |
| ・不明 | 12 | 1.3 |

問14 (問13で「支持する」「どちらかと言えば支持する」と答えた方にお尋ねします)長野県が県内の二酸化炭素(CO₂)排出量実質ゼロを達成するには、特に、どんなことが必要だと思いますか。次の中に、あなたの考えにあてはまるものがあれば、いくつでも選んでください。

| | (人) | (%) |
|-----------------------------|-----|------|
| ・二酸化炭素を吸収する森林の整備を加速させる | 396 | 56.8 |
| ・県内の豊富な河川を十分に活用し、水力発電を増やす | 315 | 45.2 |
| ・建物の断熱化費用の負担を軽くする | 285 | 40.9 |
| ・太陽光発電パネルの設置費用の負担を軽くする | 285 | 40.9 |
| ・バス、鉄道など公共交通を支援し、マイカー利用を減らす | 270 | 38.7 |
| ・太陽光発電パネルの適正な廃棄やリサイクルを推進する | 256 | 36.7 |
| ・風力、バイオマス(生物資源)、地熱発電を増やす | 248 | 35.6 |
| ・電気自動車や燃料電池車の普及を促進する | 227 | 32.6 |
| ・自転車走りやすい道路を大幅に増やす | 215 | 30.8 |
| ・その他 | 13 | 1.9 |
| ・何とも言えない・わからない | 10 | 1.4 |
| ・不明 | 5 | 0.7 |

問15 あなたは、県内で進められている県立高校の再編や学科、カリキュラムづくりを評価しますか、評価しませんか。

| | (人) | (%) |
|----------------|-----|------|
| ・評価する | 138 | 15.5 |
| ・どちらかと言えば評価する | 352 | 39.5 |
| ・どちらかと言えば評価しない | 82 | 9.2 |
| ・評価しない | 28 | 3.1 |
| ・何とも言えない・わからない | 281 | 31.5 |
| ・不明 | 10 | 1.1 |

問16 リニア中央新幹線は、東京・品川—大阪間を結ぶ計画で、建設中の品川—名古屋間のうち長野県内は飯田市で駅が建設中です。飯田—品川間を45分、飯田—名古屋間を25分で結ぶ計画ですが、工事の遅れから開業時期は2027年から延期され、少なくとも2035年以降となる見込みです。あなたは、リニア中央新幹線にどの程度期待していますか。

| | (人) | (%) |
|----------------|-----|------|
| ・大いに期待している | 145 | 16.3 |
| ・ある程度期待している | 199 | 22.3 |
| ・あまり期待していない | 305 | 34.2 |
| ・全く期待していない | 149 | 16.7 |
| ・何とも言えない・わからない | 84 | 9.4 |
| ・不明 | 9 | 1.0 |

問17 県知事と県議会の関係は、どうあるべきだと思いますか。次の中から、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

| | (人) | (%) |
|------------------|-----|------|
| ・できるだけ協調し協力するべきだ | 502 | 56.3 |
| ・できるだけ緊張関係を保つべきだ | 238 | 26.7 |
| ・その他 | 19 | 2.1 |
| ・何とも言えない・わからない | 123 | 13.8 |
| ・不明 | 9 | 1.0 |

問18 あなたは、石破内閣を支持しますか、支持しませんか。

| | (人) | (%) |
|----------------|-----|------|
| ・支持する | 61 | 6.8 |
| ・どちらかと言えば支持する | 196 | 22.0 |
| ・どちらかと言えば支持しない | 183 | 20.5 |
| ・支持しない | 272 | 30.5 |
| ・何とも言えない・わからない | 176 | 19.8 |
| ・不明 | 3 | 0.3 |

問19 あなたは、どの政党を支持していますか。

| | (人) | (%) |
|--------------|-----|------|
| ・自民党 | 195 | 21.9 |
| ・立憲民主党 | 152 | 17.1 |
| ・参政党 | 60 | 6.7 |
| ・国民民主党 | 58 | 6.5 |
| ・公明党 | 26 | 2.9 |
| ・共産党 | 26 | 2.9 |
| ・れいわ新選組 | 22 | 2.5 |
| ・日本維新の会 | 17 | 1.9 |
| ・日本保守党 | 11 | 1.2 |
| ・社民党 | 10 | 1.1 |
| ・その他の政党・政治団体 | 13 | 1.5 |
| ・支持する政党はない | 288 | 32.3 |
| ・不明 | 13 | 1.5 |

(ii) 概要

有効回答 891人

経済や暮らし向き現状

問1 あなたは、長野県の経済や県民の暮らし向きの現状について、全体としてどのように受け止めていますか。

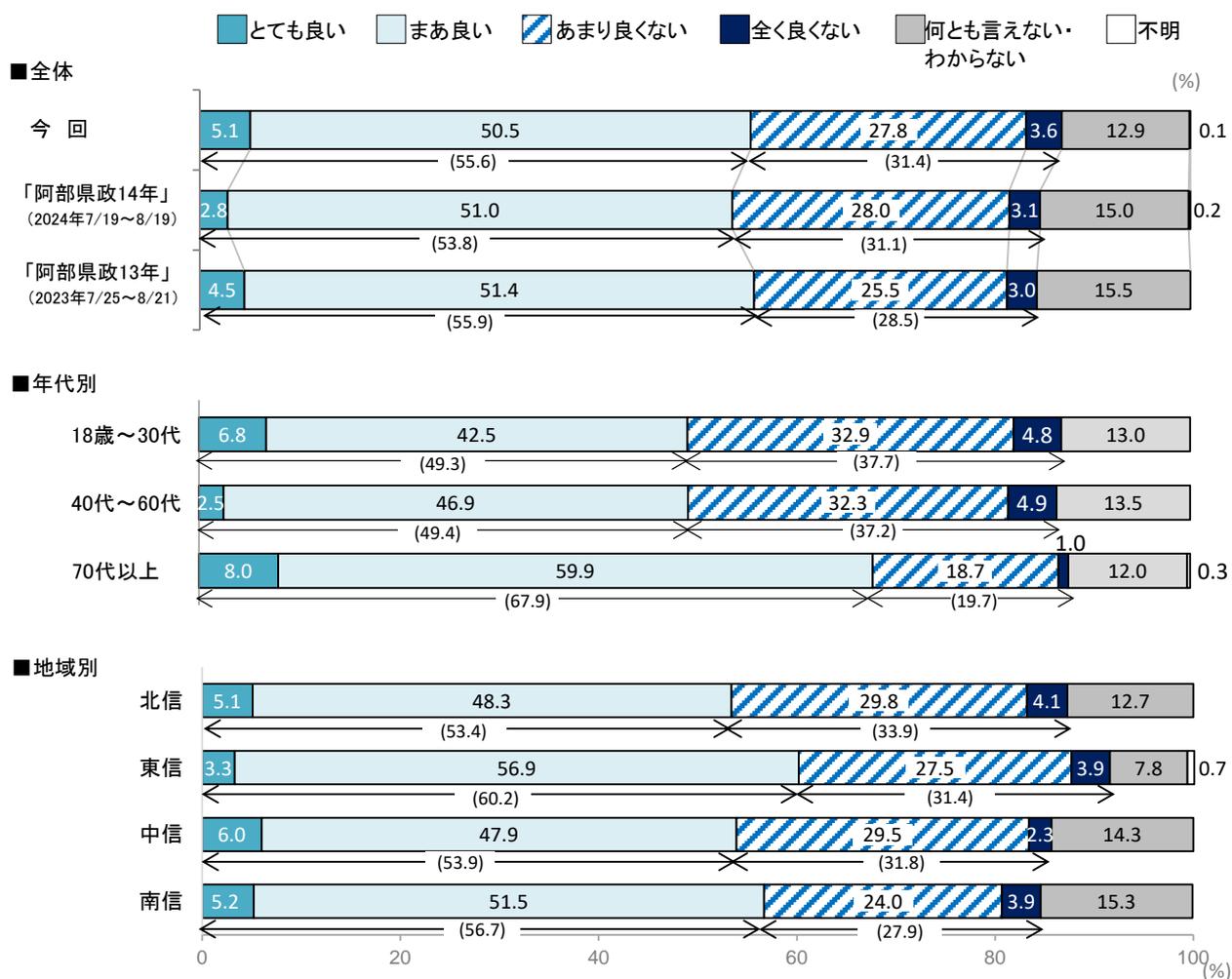
◆「良い」56%、「良くない」31%

集計表28ページ

「とても良い」は5.1%だが、「まあ良い」は50.5%と半数を占め、両者を合わせた「良い」の割合は計55.6%。半数超が「良い」と評価した。これに対し、「あまり良くない」27.8%と「全く良くない」3.6%を合わせた「良くない」は計31.4%。「良い」が「良くない」を24.2ポイント上回った。前年の当協会調査「阿部県政14年」(2024年)に比べ、「良い」は1.8ポイント上昇、「良くない」は0.3ポイント上昇。全体の評価は前年とほぼ同水準だった。

年代別にみると、70代以上では「良い」が67.9%と6割を超え、40代～60代は49.4%、18歳～30代は49.3%とほぼ5割だった。

地域別にみると、東信は「良い」が60.2%、北信が53.4%、中信53.9%、南信56.7%で、最大6.8ポイントの差となった。



阿部知事を支持しますか

問2 あなたは、阿部知事を支持しますか、支持しませんか。

◆「支持する」32%、「どちらかと言えば支持する」45%

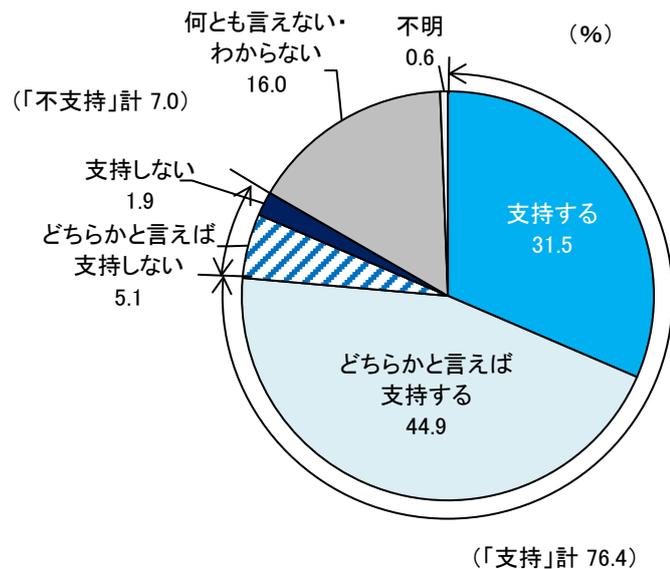
集計表29ページ

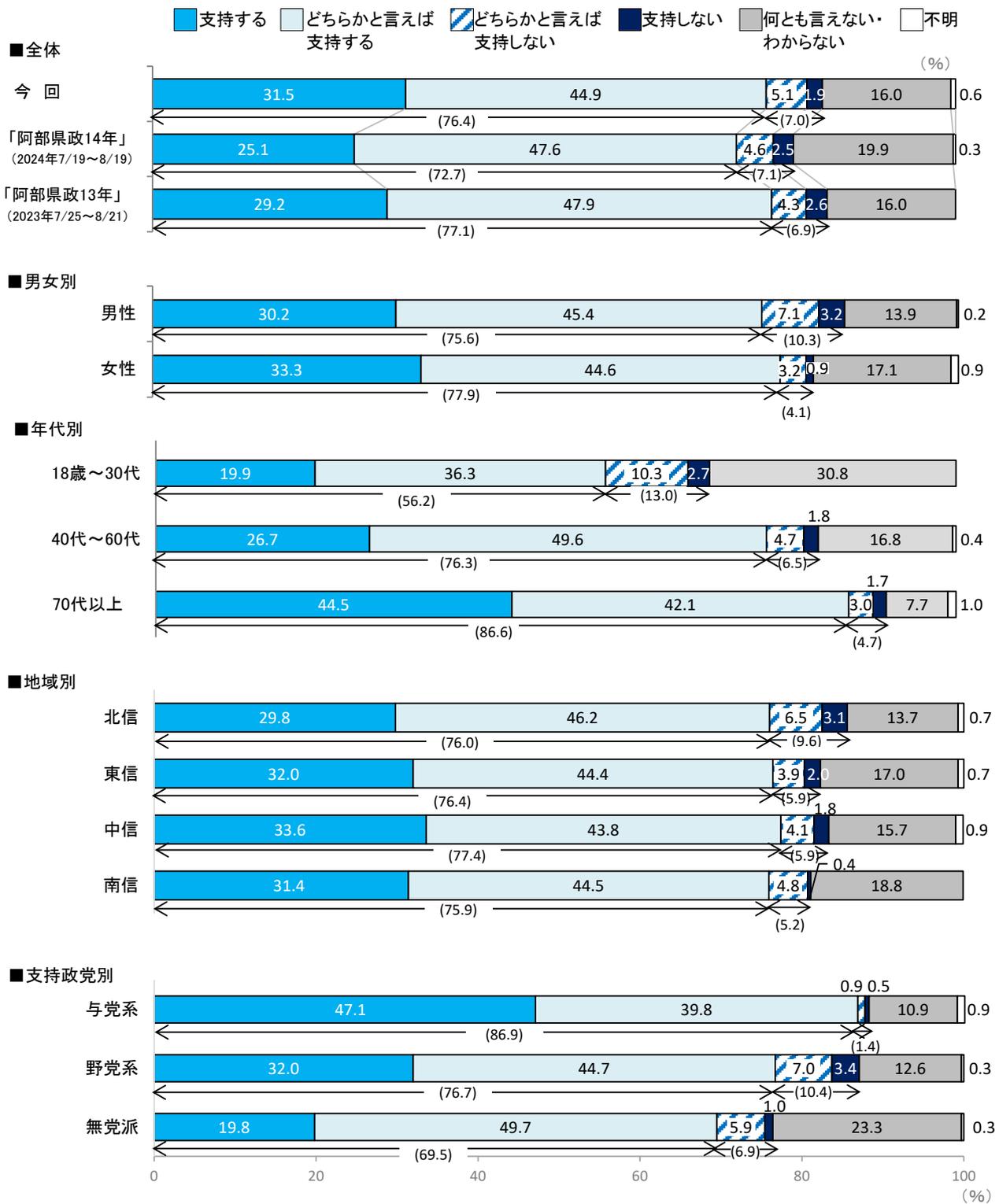
2022年に4期連続当選を果たし、この8月末で4期目の任期が残り1年となった阿部守一知事。今回の調査で阿部知事を「支持する」との明確な回答は31.5%と3割を超えた。「どちらかと言えば支持する」が44.9%で最も多く、両者を合わせた「支持」は計76.4%。前年の当協会調査「阿部県政14年」(2024年)と比べると3.7ポイント上昇した。「どちらかと言えば支持しない」5.1%、「支持しない」1.9%を合わせた「不支持」は計7.0%で、前年調査比0.1ポイントの下降でほぼ変わらない。「何とも言えない・わからない」は16.0%で、前年調査から3.9ポイント下降した。

男女別にみると、「支持」は男性が75.6%に対し、女性が77.9%とやや上回った。「不支持」は男性が10.3%に対し、女性は4.1%と低かった。

年代別にみると、「支持」は18歳～30代では56.2%だが、年代が上がるほど高くなり、40代～60代では76.3%、70代以上では86.6%。地域別にみると、「支持」は東信76.4%、北信76.0%、中信77.4%、南信75.9%。最大でも1.5ポイント差で、地域差はほとんど見られなかった。

支持政党別にみると、「支持」は与党系支持層が86.9%、野党系支持層が76.7%、無党派層が69.5%だった。





※ 与党系 自民、公明 野党系 立民、国民、れいわ、維新、共産、参政、社民、保守 無党派 「支持する政党はない」

支持の理由

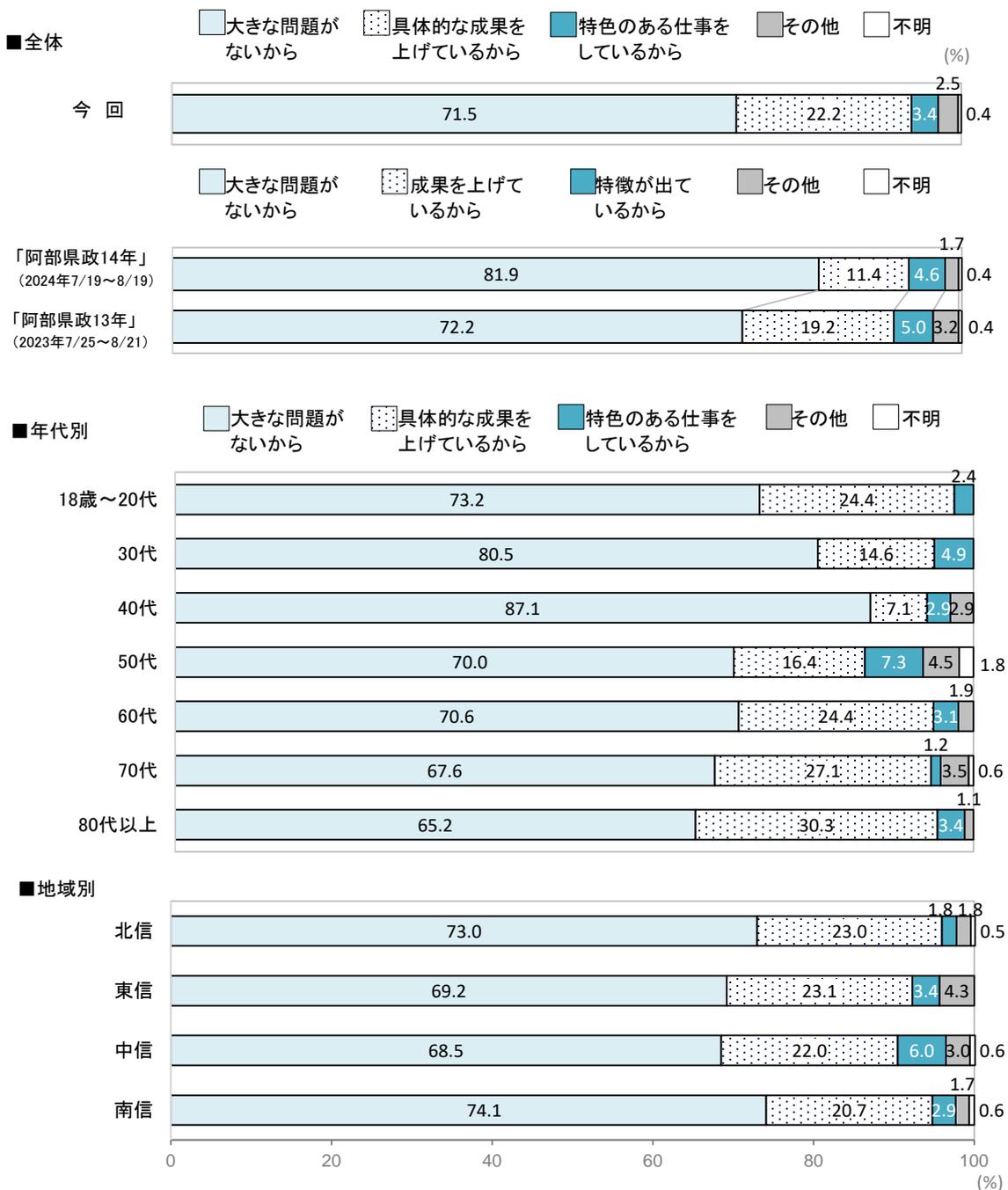
問3 A (問2で「支持する」「どちらかと言えば支持する」と答えた方にお尋ねします)
あなたが、阿部知事を支持する最も大きな理由は何ですか。

◆「大きな問題がない」72%

集計表30ページ

「大きな問題がないから」は71.5%で最多。前年の当協会調査「阿部県政14年」(2024年)に比べると10.4ポイント下降した。「具体的な成果を上げているから」は22.2%(前年調査では「成果を上げているから」が11.4%)、「特色のある仕事をしているから」は3.4%(前年調査では「特徴が出ているから」が4.6%)。

年代別にみると、「大きな問題がないから」は40代で87.1%と高く、「具体的な成果を上げているから」は80代以上で30.3%を占め、他の年代に比べて高めとなった。



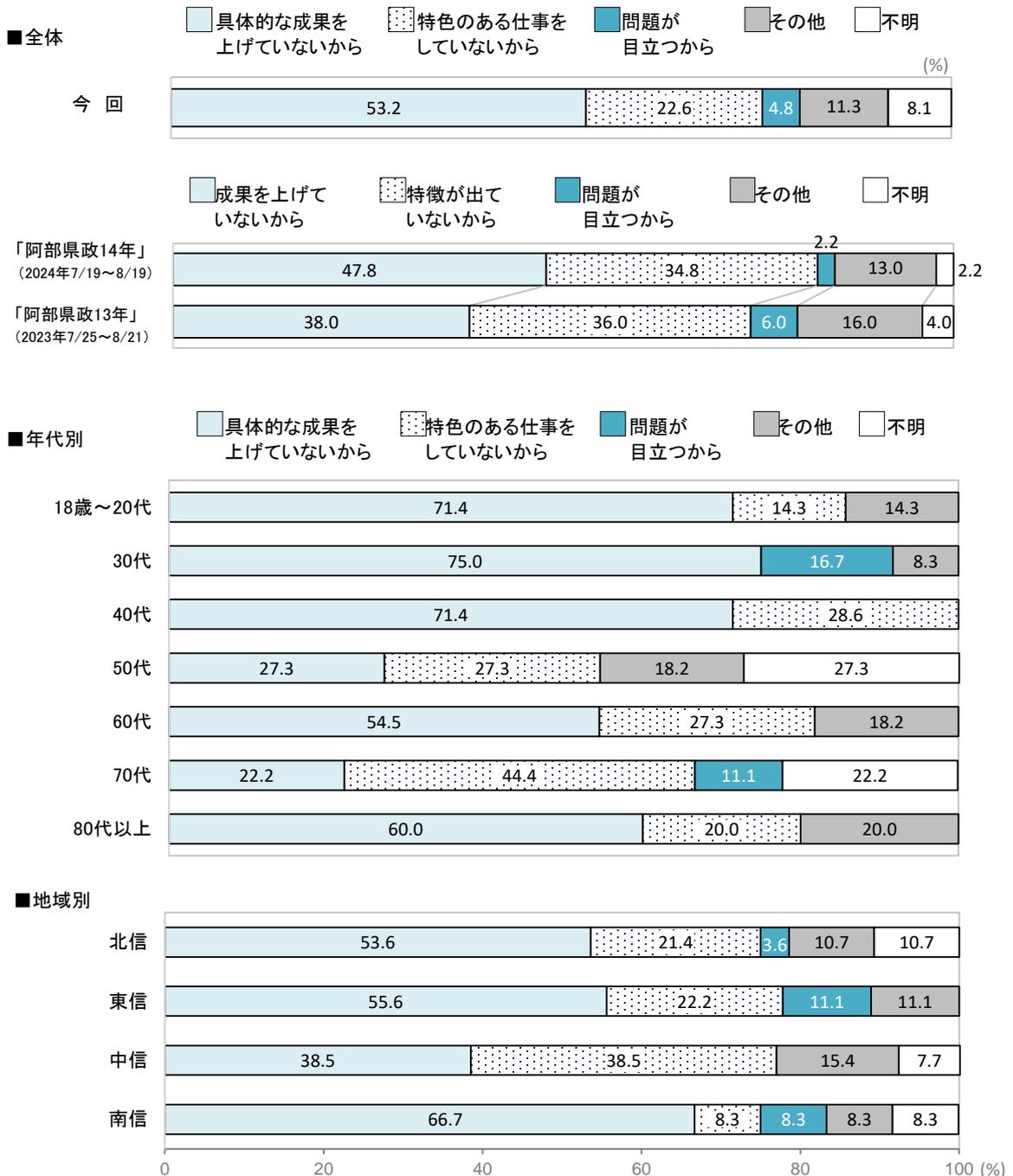
不支持の理由

問3B (問2で「どちらかと言えば支持しない」「支持しない」と答えた方にお尋ねします) あなたが、阿部知事を支持しない最も大きな理由は何ですか。

◆「具体的な成果を上げていない」53%

集計表31ページ

「具体的な成果を上げていないから」が53.2%で最多。次いで「特色のある仕事をしていないから」が22.6%。「問題が目立つから」は4.8%とわずかだった。「不支持」の回答者数が全体で62人と少ないが、「成果」「特色」への不満が主な理由となっている。



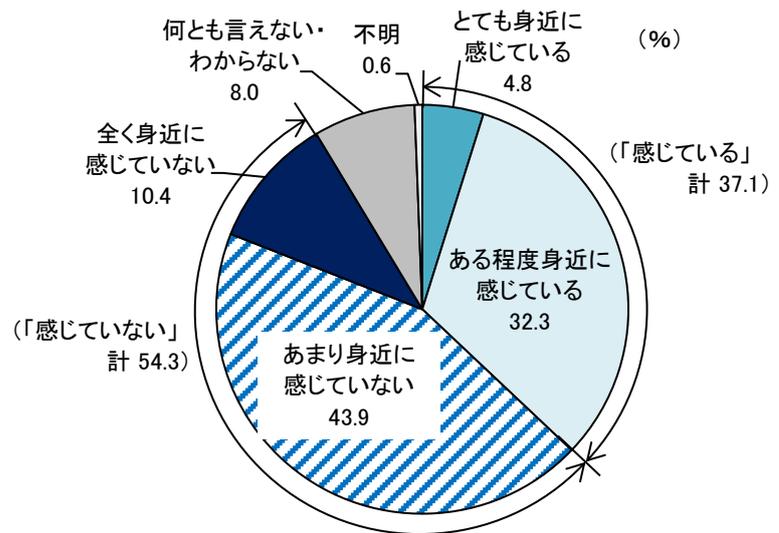
県政を身近に感じているか

問4 あなたは日ごろ長野県政を身近に感じていますか、いませんか。

◆「感じている」37%、「感じていない」54%

集計表32ページ

長野県政を身近に感じているかと聞いたところ、「とても身近に感じている」4.8%、「ある程度身近に感じている」32.3%の両者を合わせた「感じている」は計37.1%にとどまった。これに対し、「あまり身近に感じていない」43.9%、「全く身近に感じていない」10.4%の両者を合わせた「感じていない」は計54.3%で過半数を占めた。ただ前年の当協会調査「阿部県政14年」（2024年）に比べると、「感じている」は計8.0ポイント上昇し、「感じていない」は計7.9ポイント下降で、身近に感じている層が増えた。

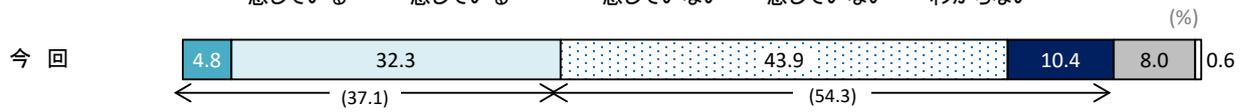


年代別にみると、「感じていない」は18歳～30代が69.1%、40代～60代が57.0%、70代以上が43.2%と年代が上がるほど低くなり、70代以上では「感じている」(48.9%)が「感じていない」を上回った。地域別にみると、北信、中信、南信では「感じていない」が「感じている」を上回り、それぞれ55.5%、57.1%、55.9%だった。東信は「感じている」が47.1%で「感じていない」を上回った。

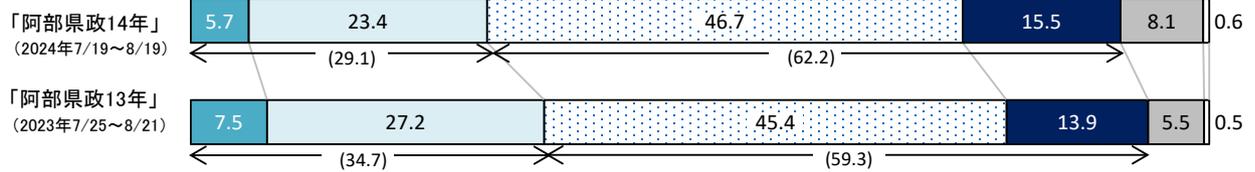
支持政党別にみると、与党系支持層では「感じている」が多く52.9%、野党系支持層、無党派層では「感じていない」が多く、それぞれ60.4%、59.0%だった。

■全体

■ とても身近に感じている
 ■ ある程度身近に感じている
 ■ あまり身近に感じている
 ■ 全く身近に感じている
 ■ 何とも言えない・わからない
 ■ 不明

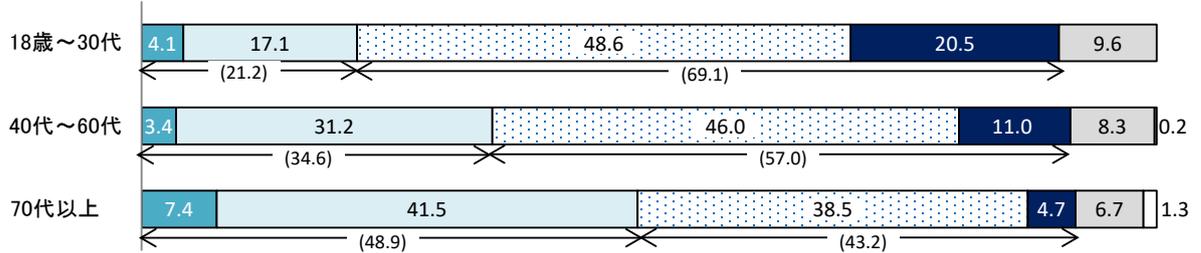


■ 感じている
 ■ まあ感じている
 ■ あまり感じていない
 ■ 感じていない
 ■ 何とも言えない・わからない
 ■ 不明

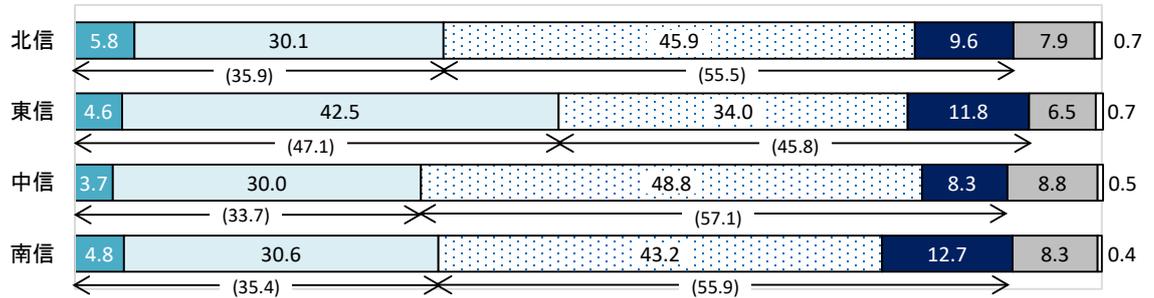


■年代別

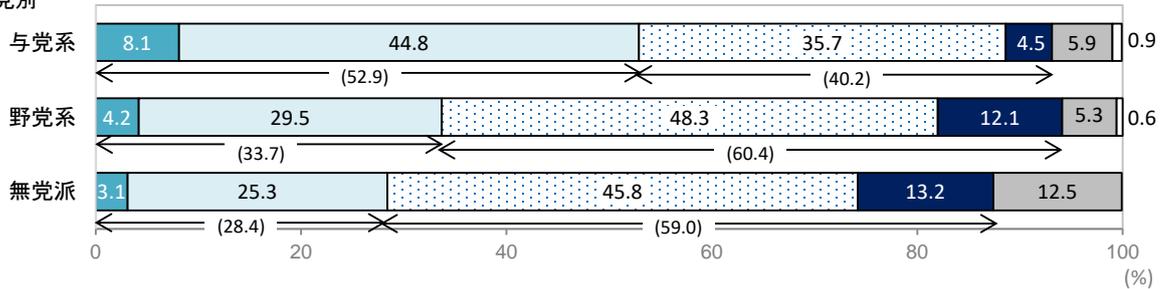
■ とても身近に感じている
 ■ ある程度身近に感じている
 ■ あまり身近に感じている
 ■ 全く身近に感じている
 ■ 何とも言えない・わからない
 ■ 不明



■地域別



■支持政党別



来夏の県知事選への考え方は

問5 阿部知事は現在4期目で、阿部県政は8月末で丸15年となります。来夏には県知事選が控えていますが、選挙に関して、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

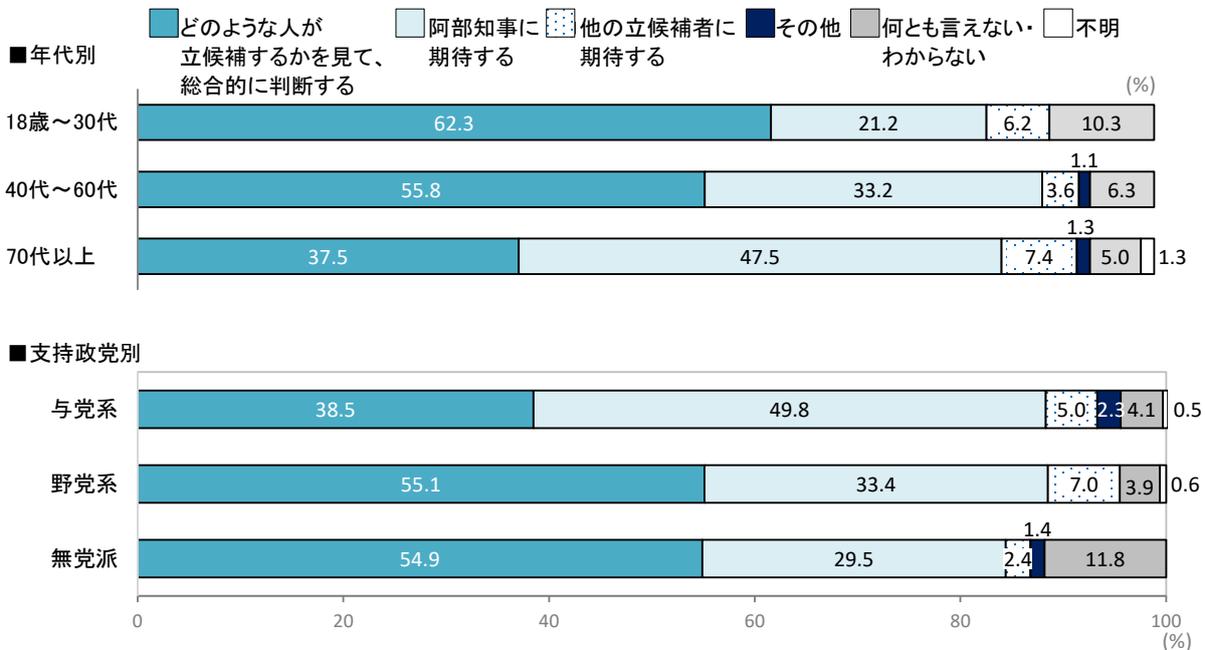
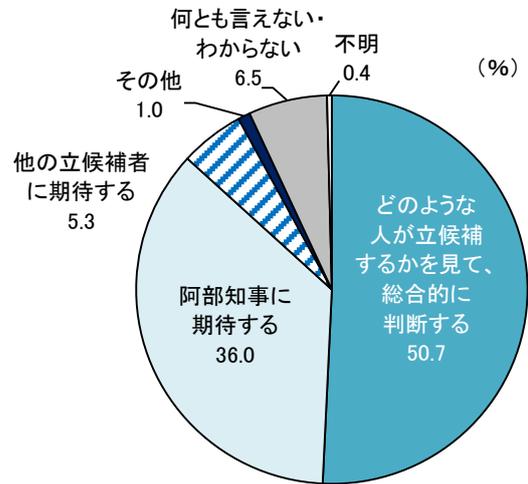
◆「立候補者を見て総合的に判断」51%

集計表33ページ

来夏に予定される任期満了に伴う長野県知事選への考え方を聞いたところ、「どのような人が立候補するかを見て、総合的に判断する」が50.7%で最多。続いて「阿部知事に期待する」が36.0%。「他の立候補者に期待する」は5.3%だった。

年代別にみると、「どのような人が立候補するかを見て、総合的に判断する」は18歳～30代が62.3%、40代～60代が55.8%で半数を超えて最多。70代以上では37.5%に下降し、「阿部知事に期待する」が47.5%で最多となった。

支持政党別にみると、与党系支持層では「阿部知事に期待する」が49.8%でトップ。野党系支持層と無党派層では「どのような人が立候補するかを見て、総合的に判断する」がトップでそれぞれ55.1%、54.9%だった。



※**与党系** 自民、公明 **野党系** 立民、国民、れいわ、維新、共産、参政、社民、保守 **無党派** 「支持する政党はない」

県政が力を入れるべき施策は

問6 阿部県政は、どんな施策に力を入れるべきだと思いますか。次の中から、4つ以内で選んでください。

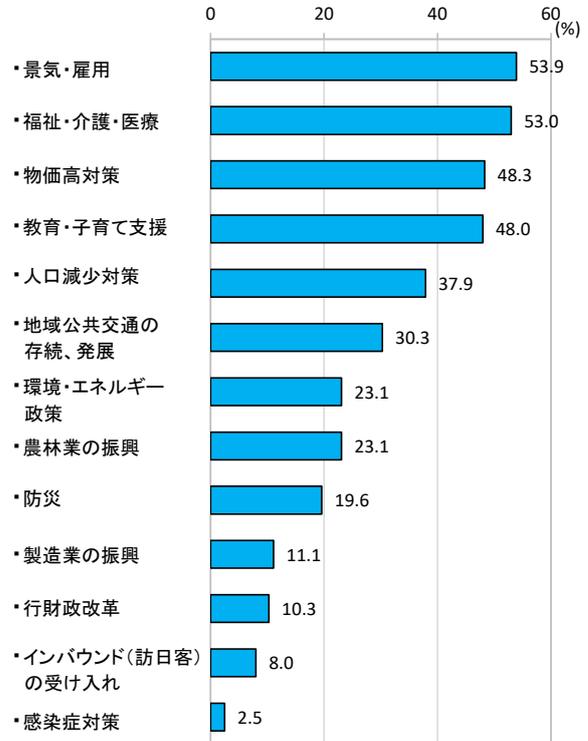
◆「景気・雇用」54%、「福祉・介護・医療」53%、「物価高対策」48%

「景気・雇用」が53.9%で最も高く、次いで「福祉・介護・医療」が53.0%で、この2つが半数を超えた。「物価高対策」48.3%、「教育・子育て支援」48.0%も多く、半数近くに上った。昨年2月に県人口が200万人を割り込んだこともあって「人口減少対策」が37.9%、路線バス減便やローカル鉄道の存廃論議が注目されるなか「地域公共交通の存続、発展」が30.3%で続いた。

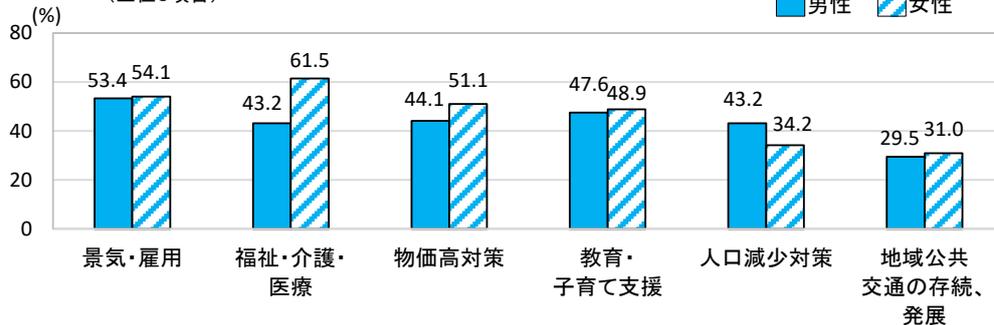
男女別にみると、「景気・雇用」は男女ともに5割以上が挙げている。「福祉・介護・医療」は女性の6割超が挙げ、男性を18.3ポイントも上回った。「物価高対策」は女性の51.1%が挙げ、男性（44.1%）を7.0ポイント上回った。

年代別にみると、「景気・雇用」は、40代～60代では59.2%と6割近くが挙げた。「物価高対策」と「教育・子育て支援」は、18歳～30代の若年層が多く挙げ、それぞれ58.9%、65.1%を占めた。「福祉・介護・医療」「人口減少対策」「地域公共交通の存続、発展」は70代以上の高齢者層が多く挙げ、それぞれ60.5%、50.8%、32.1%を占めた。

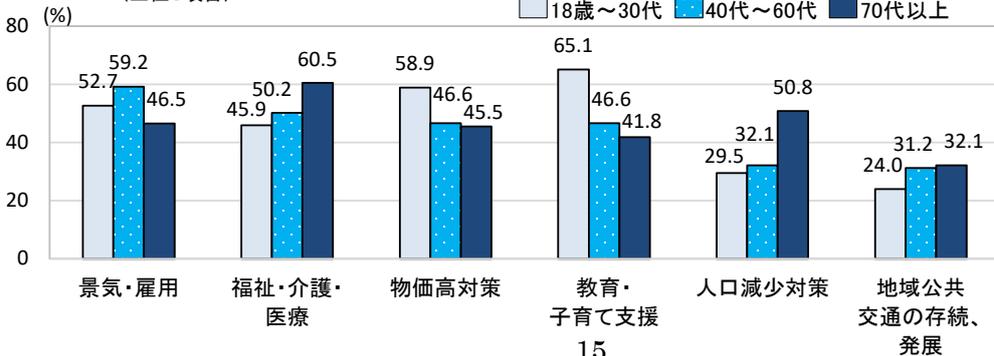
集計表34ページ



■男女別 (上位6項目)



■年代別 (上位6項目)



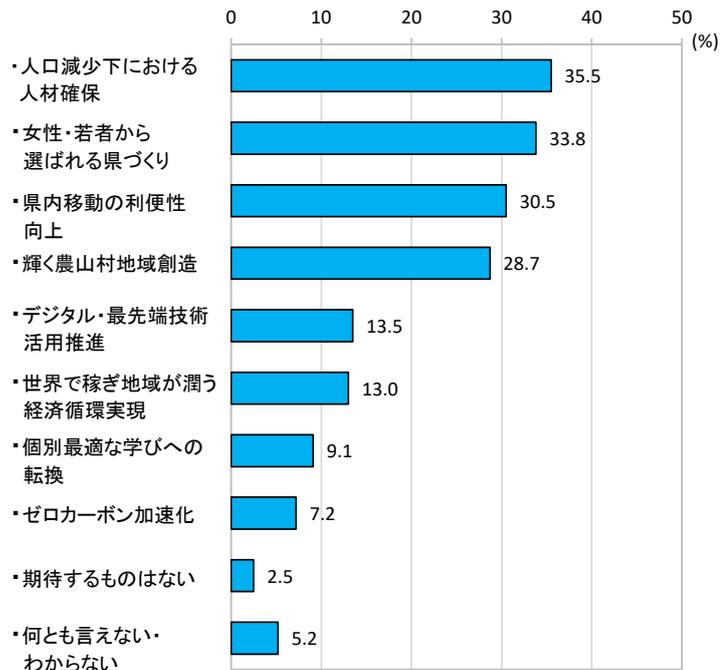
長野県総合計画が掲げるプロジェクト、期待するものは

問7 長野県は、県政運営の指針である総合計画「しあわせ信州創造プラン3.0」（2023～27年度の5カ年）に、次の8つの「新時代創造プロジェクト」を掲げており、本年度は折り返しの年に当たります。プロジェクトから、あなたが特に期待したいと思うものがあれば、2つ以内で選んでください。

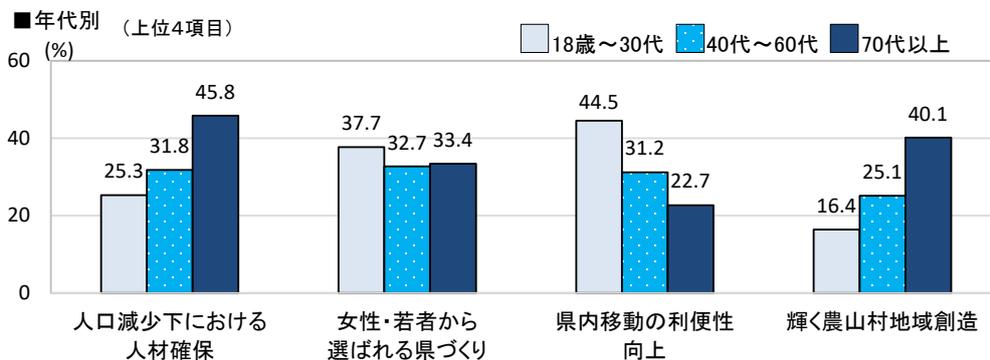
◆「人口減少下における人材確保」トップ36%

集計表35ページ

長野県の総合計画が掲げる8つのプロジェクトのうち、特に期待するものを聞いたところ、「人口減少下における人材確保」が35.5%でトップ。長野県人口は2024年2月に200万人を割り込み、2001年の222万人をピークに減少が続いており、県民の強い危機感を反映した結果となった。次いで「女性・若者から選ばれる県づくり」が33.8%、「県内移動の利便性向上」が30.5%で、3割を超えた。続いて「輝く農山村地域創造」が28.7%、「デジタル・最先端技術活用推進」が13.5%だった。



年代別にみると、「人口減少下における人材確保」は70代以上の45.8%が挙げ、「輝く農山村地域創造」も70代以上の40.1%が挙げ、期待が高かった。「県内移動の利便性向上」は18歳～30代の44.5%が挙げ、若年層からの期待が大きかった。



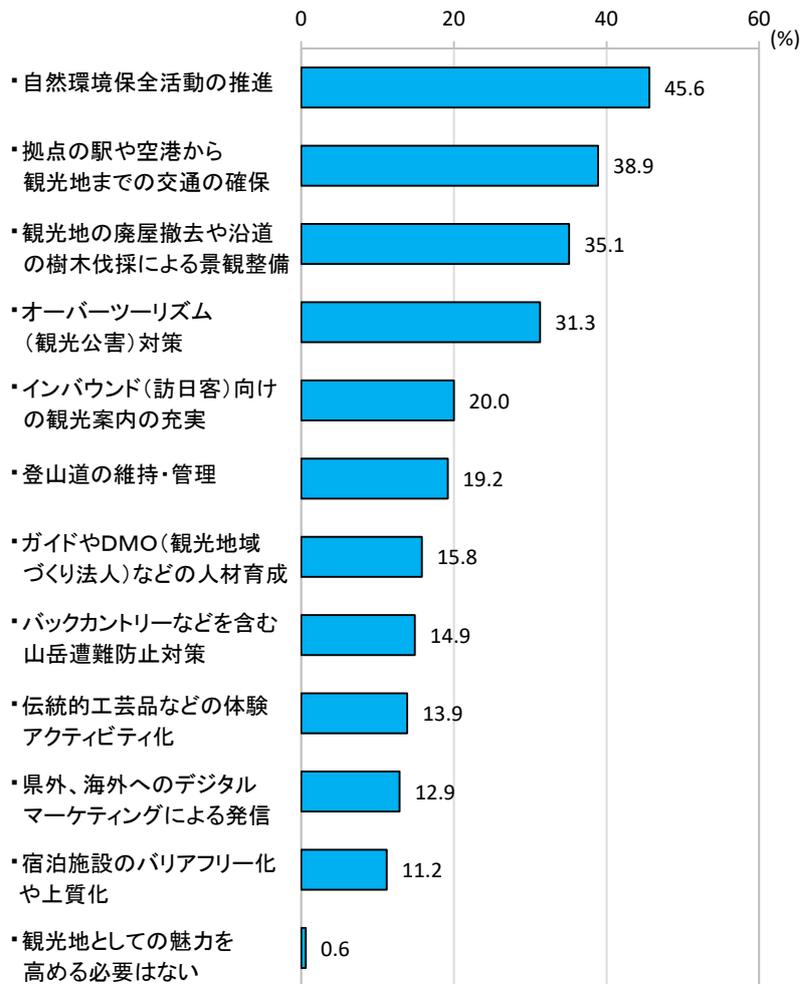
長野県の観光地の魅力を高める施策は

問8 長野県の観光振興について、うかがいます。長野県は「世界水準の山岳高原観光地づくり」を目指していますが、長野県の観光地としての魅力を高めるために、あなたが、特に力を入れるべきだと思う施策を、次の中から、3つ以内で選んでください。

◆「自然環境保全活動の推進」トップ46%

集計表36ページ

「自然環境保全活動の推進」を挙げた人が最多の45.6%で唯一4割を超え、豊かな自然環境が観光資源だとの意識が県民に浸透していることがうかがえる。次いで「拠点の駅や空港から観光地までの交通の確保」38.9%、「観光地の廃屋撤去や沿道の樹木伐採による景観整備」35.1%と続いた。「オーバーツーリズム（観光公害）対策」も31.3%で3割を超えた。



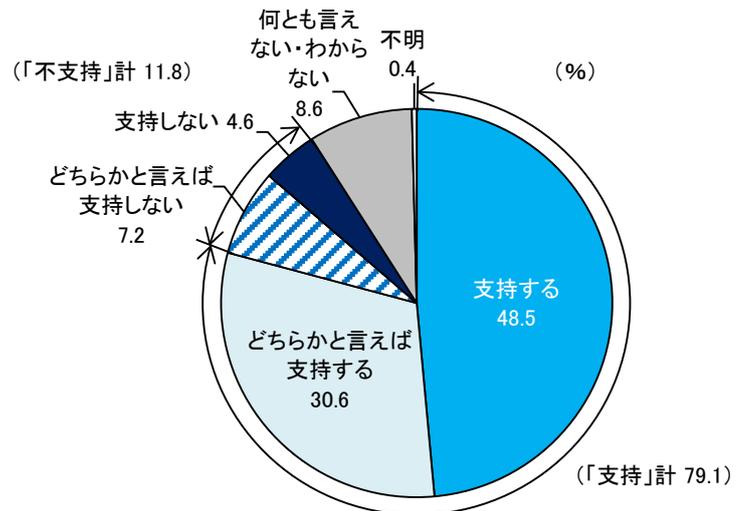
長野県が導入を決めた宿泊税制度について

問9 長野県は、2026年6月から県内の旅館やホテルに宿泊した人から一定額を徴収する「宿泊税」の導入を決めました。税金は観光振興に充て、一部を市町村に県交付金として支給し、地域ごとに取り組む施策の財源とする考えです。あなたはこうした県の政策を支持しますか、それとも支持しませんか。

◆「支持」8割

集計表37ページ

2026年6月からの導入が決まった宿泊税制度について聞いた。「支持する」48.5%と「どちらかと言えば支持する」30.6%を合わせた「支持」は計79.1%。約8割が宿泊税導入を支持している。「どちらかと言えば支持しない」7.2%と「支持しない」4.6%を合わせた「不支持」は計11.8%。「何とも言えない・わからない」は8.6%だった。



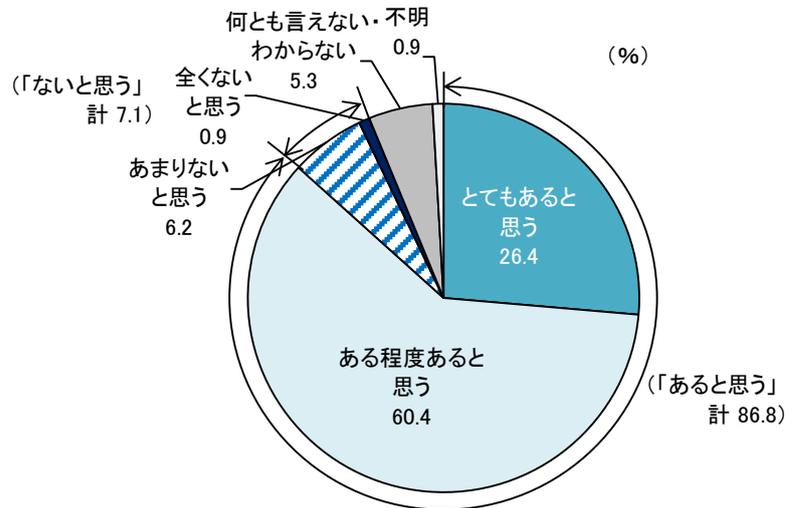
観光振興の長野県経済への波及効果は

問10 長野県の観光を盛んにすることによって、県内経済全体への波及効果は、どの程度あると思いますか。

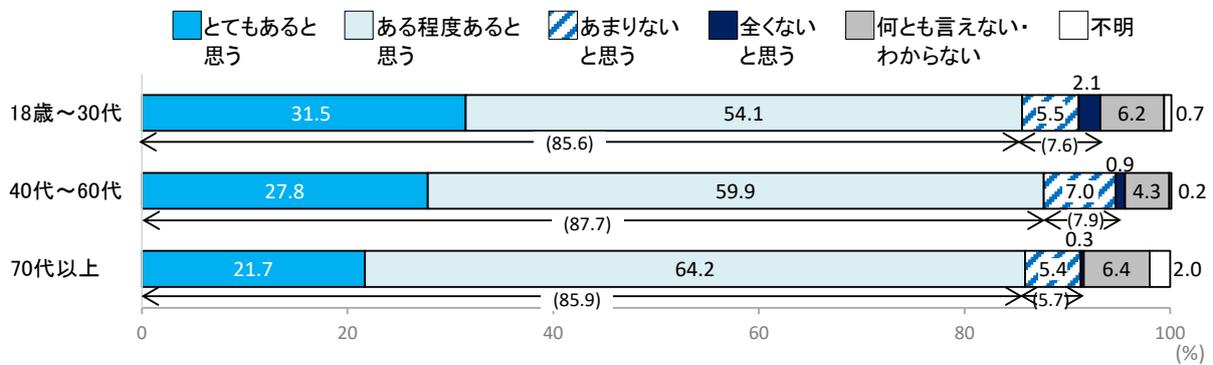
◆「ある程度ある」60%、「とてもある」26%

集計表38ページ

「ある程度あると思う」の60.4%、「とてもあると思う」の26.4%を合わせた「あると思う」は計86.8%で、8割超を占めた。年代別にみると、「とてもあると思う」は、18歳～30歳が31.5%で、70代以上(21.7%)を9.8ポイント上回った。



■年代別



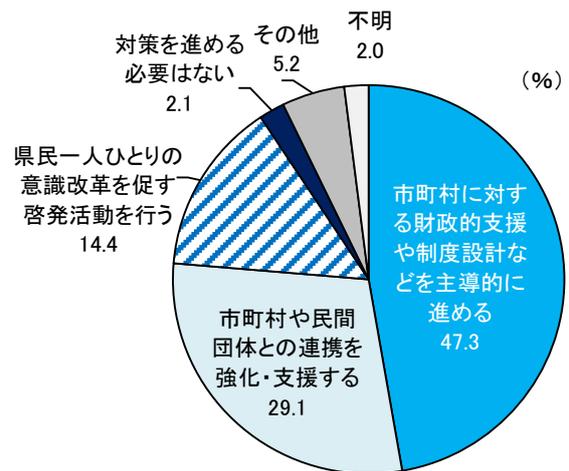
長野県が進めるべき少子高齢化・人口減少対策は

問11 長野県の人口は2024年2月におよそ半世紀ぶりに200万人を下回りました。2001年の222万人をピークに減少が続いています。県として、どのような少子高齢化対策・人口減少対策を進めるべきだと思いますか。次の中から、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

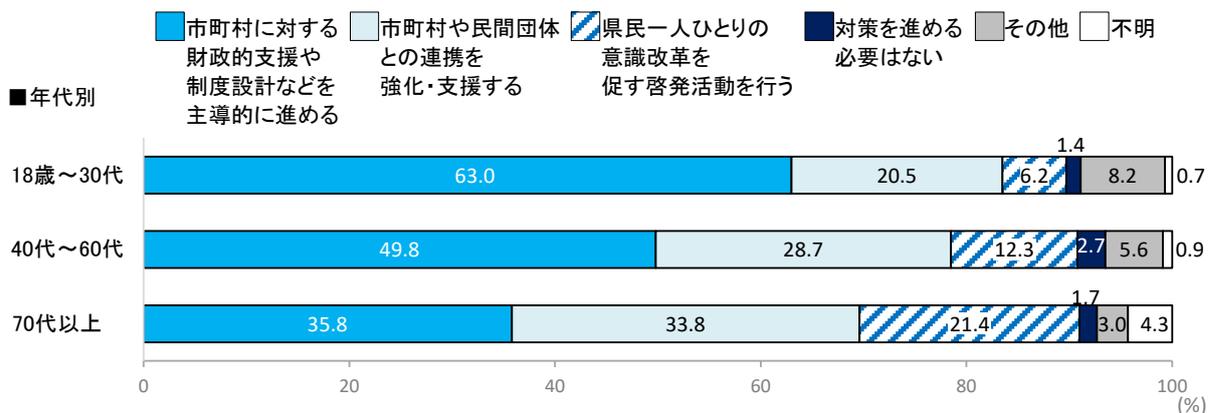
◆「市町村に対する財政的支援や制度設計などを主導」47%

集計表39ページ

長野県が進めるべき少子高齢化対策・人口減少対策を聞いたところ、「市町村に対する財政的支援や制度設計などを主導的に進める」が47.3%と最も多く、半数近くを占めた。次いで「市町村や民間団体との連携を強化・支援する」が29.1%に上った。「県民一人ひとりの意識改革を促す啓発活動を行う」は14.4%。「対策を進める必要はない」はわずか2.1%だった。問7においても長野県総合計画が掲げるプロジェクトのうち、最も期待を集めた項目が「人口減少下における人材確保」という結果となっており、県民の人口減少への危機感が強く、市町村への財政支援など主導的役割への期待が大きい状況がうかがえる。



年代別にみると、「市町村に対する財政的支援や制度設計などを主導的に進める」を選んだのは、18歳～30代が63.0%に上り、40代～60代が49.8%、70代以上が35.8%と年代が下がるほど割合が高かった。



県の掲げるジェンダーギャップ（男女格差）指数目標は

問12 長野県は2024年の都道府県別ジェンダーギャップ（男女格差）指数で、政治分野で全国19位、行政22位、教育15位、経済26位でした。県の「人口戦略」は、2030年までに各項目を全国の上位10位以内に引き上げることを掲げ、性別による固定的な役割や格差解消に向け、職場や地域の取り組みを強化するとしています。あなたは長野県の施策によって、これらの目標がどの程度実現できると思いますか。

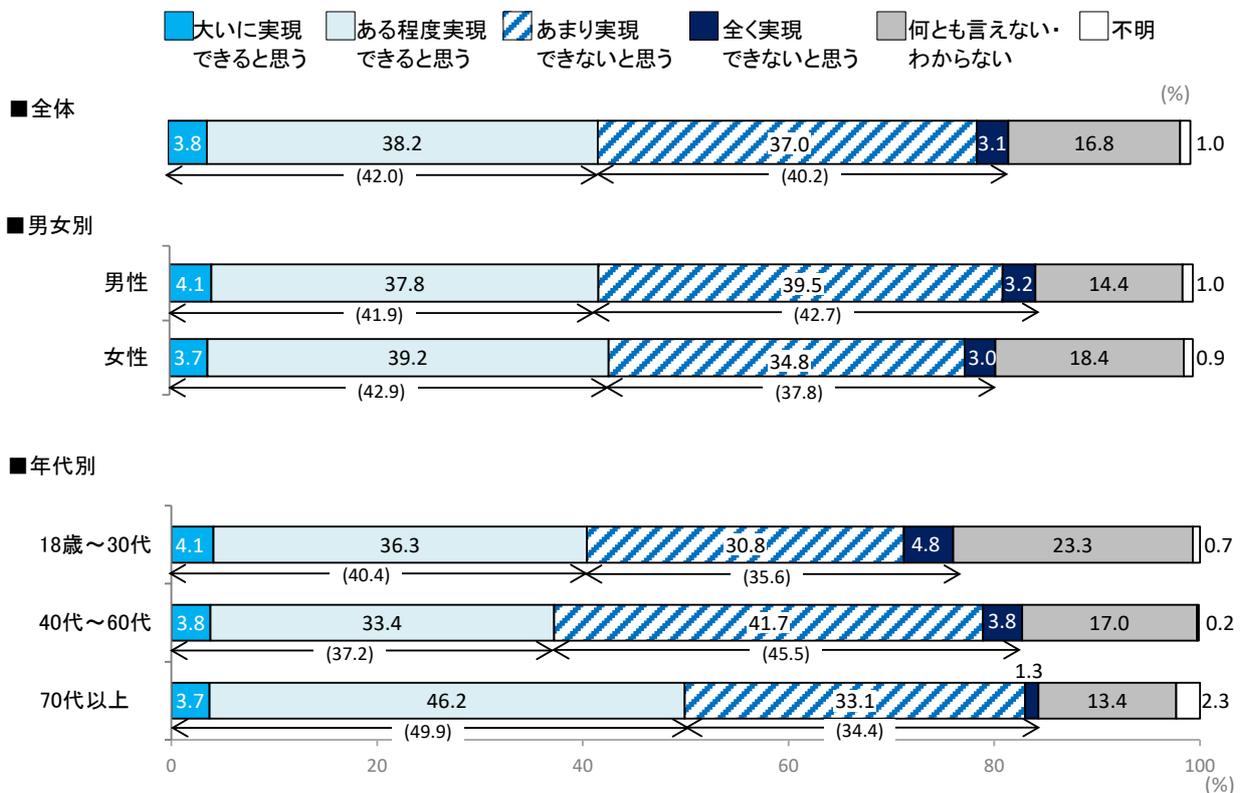
◆「実現できる」と「実現できない」が拮抗

集計表40ページ

「大いに実現できると思う」が3.8%、「ある程度実現できると思う」が38.2%で、両者を合わせた「実現できると思う」が計42.0%。「あまり実現できないと思う」（37.0%）と「全く実現できないと思う」（3.1%）を合わせた「実現できないと思う」は計40.2%。「実現できると思う」と「実現できないと思う」がほぼ拮抗した。

男女別にみると、男性は「実現できると思う」（計41.9%）と「実現できないと思う」（計42.7%）がほぼ拮抗。女性は「実現できると思う」（計42.9%）が「実現できないと思う」（計37.8%）を5.1ポイント上回った。

年代別にみると、18歳～30代と70代以上は「実現できると思う」がそれぞれ40.4%、49.9%で「実現できないと思う」を上回った。40代～60代は反対に「実現できないと思う」が「実現できると思う」を上回り、45.5%だった。



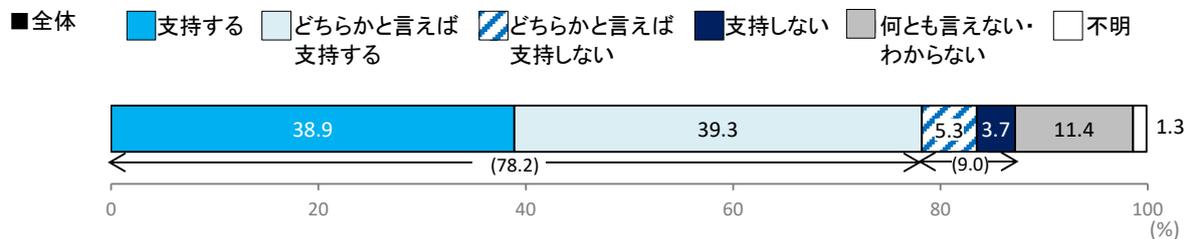
長野県が掲げる 2050 年のゼロカーボン目標を支持しますか

問13 長野県は、2050年までに県内の二酸化炭素（CO₂）排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボン（脱炭素）」達成を目指しています。あなたは、これを支持しますか、支持しませんか。

集計表41ページ

◆「支持」8割、「不支持」1割、留保1割

「支持する」（38.9%）と「どちらかと言えば支持する」（39.3%）が4割近くを占め、両者を合わせた「支持」は計78.2%と8割近くに達した。「どちらかと言えば支持しない」（5.3%）と「支持しない」（3.7%）を合わせた「不支持」は計9.0%で1割近く。「何とも言えない・わからない」は11.4%だった。



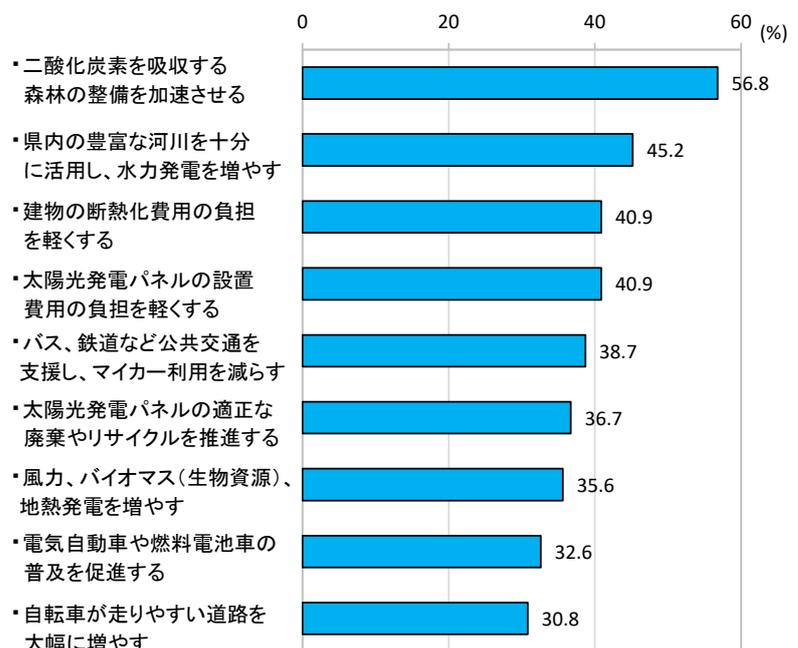
ゼロカーボン目標の達成へ必要な施策は

問14 （問13で「支持する」「どちらかと言えば支持する」と答えた方にお尋ねします）長野県が県内の二酸化炭素（CO₂）排出量実質ゼロを達成するには、特に、どんなことが必要だと思いますか。次の中に、あなたの考えにあてはまるものがあれば、いくつでも選んでください。

集計表42ページ

◆「二酸化炭素を吸収する森林整備を加速」トップ57%

「二酸化炭素を吸収する森林の整備を加速させる」が唯一5割を超え56.8%でトップ。次いで「県内の豊富な河川を十分に活用し、水力発電を増やす」が45.2%で、自然環境を生かした施策が上位となった。3番目は「建物の断熱化費用の負担を軽くする」「太陽光発電パネルの設置費用の負担を軽くする」が同率の40.9%。「バス、鉄道など公共交通を支援し、マイカー利用を減らす」が38.7%で続いた。



県立高校再編を評価しますか

問15 あなたは、県内で進められている県立高校の再編や学科、カリキュラムづくりを評価しますか、評価しませんか。

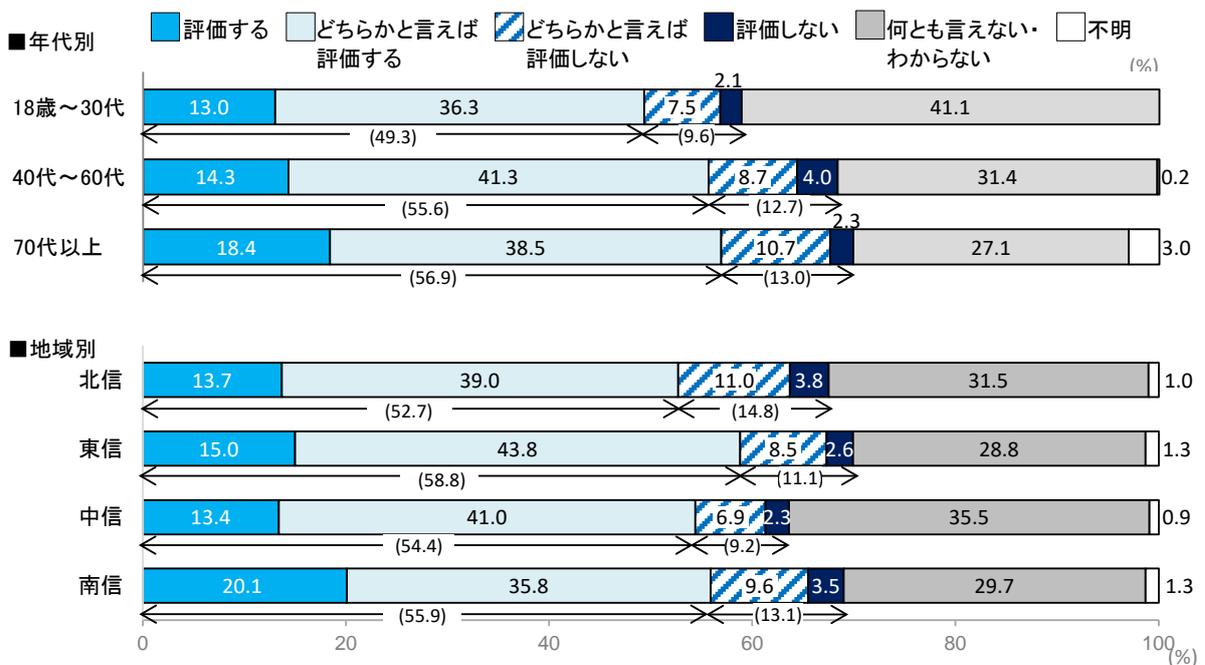
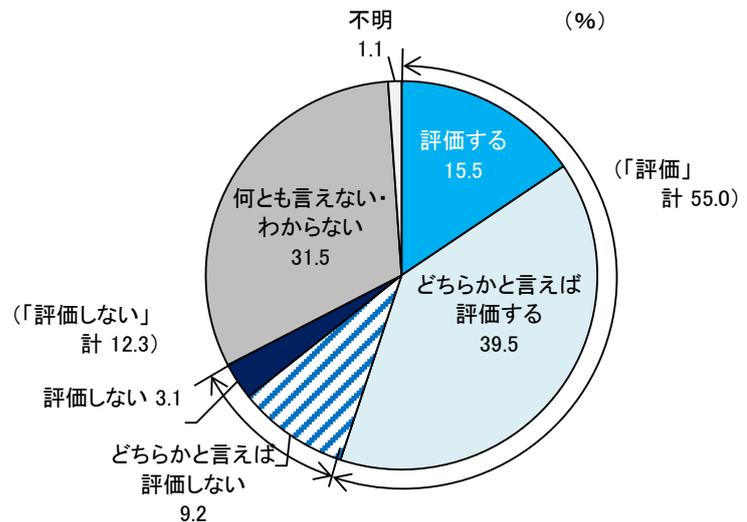
◆「評価する」16%、「どちらかと言えば評価する」40%

集計表43ページ

「評価する」が15.5%、「どちらかと言えば評価する」が39.5%となり、両者を合わせた「評価」は計55.0%となった。「どちらかと言えば評価しない」は9.2%、「評価しない」は3.1%だった。

年代別にみると、各年代とも「評価」が多数。40代～60代(55.6%)と70代以上(56.9%)が半数を上回ったが、18歳～30代(49.3%)はわずかに5割に届かなかった。

地域別にみると、「評価」は東信が58.8%、北信が52.7%、中信は54.4%。南信は55.9%で、最大で6.1ポイントの差があった。



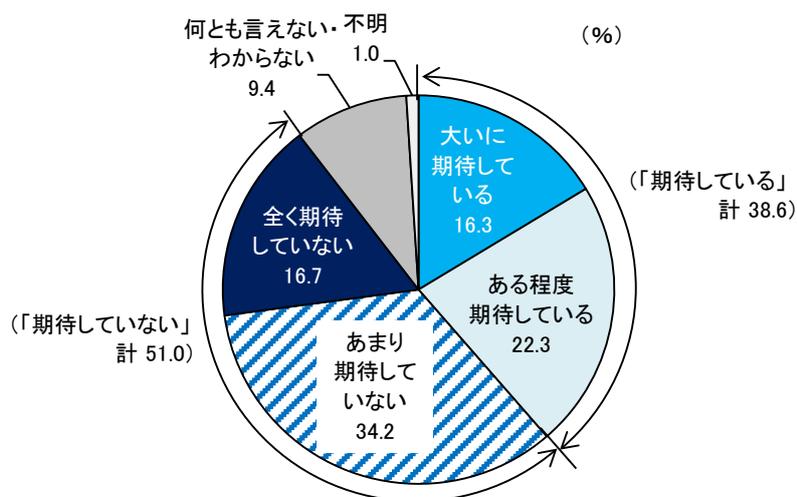
リニア中央新幹線に期待していますか

問16 リニア中央新幹線は、東京・品川—大阪間を結ぶ計画で、建設中の品川—名古屋間のうち長野県内は飯田市で駅が建設中です。飯田—品川間を45分、飯田—名古屋間を25分で結ぶ計画ですが、工事の遅れから開業時期は2027年から延期され、少なくとも2035年以降となる見込みです。あなたは、リニア中央新幹線にどの程度期待していますか。

◆「期待している」39%、「期待していない」51%、大きい地域差

集計表44ページ

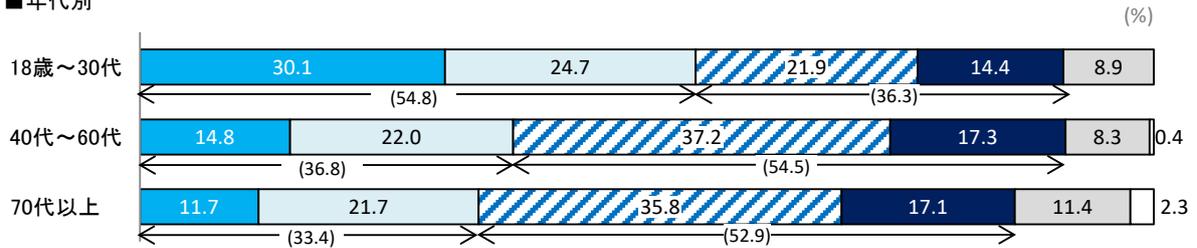
リニア中央新幹線への期待を聞いたところ、「大いに期待している」(16.3%)と「ある程度期待している」(22.3%)を合わせた「期待している」は計38.6%にとどまり、「あまり期待していない」(34.2%)と「全く期待していない」(16.7%)を合わせた「期待していない」は計51.0%で過半数を占めた。「何とも言えない・わからない」は9.4%だった。



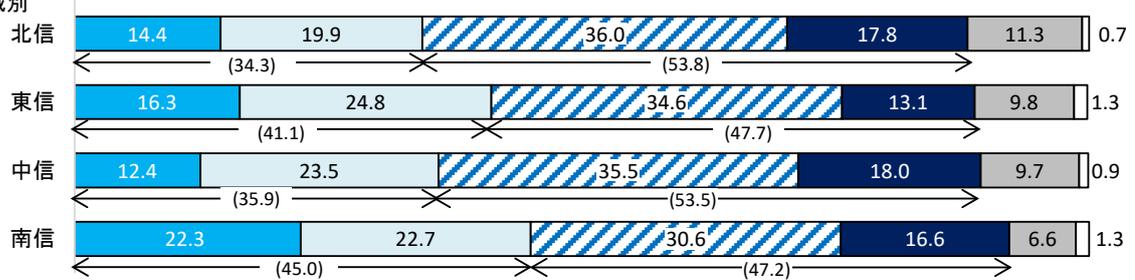
年代別にみると、40代～60代、70代以上は「期待していない」がそれぞれ54.5%、52.9%で半数を超え、「期待している」はともに4割に満たなかった。一方で18歳～30代は反対に「期待している」が54.8%と半数を超えた。特に18歳～20代では、「期待している」が66.2%と6割を超え、「期待していない」は24.0%にとどまり、若年層の期待が大きい結果となった。

地域別にみると、「期待している」は南信が高く45.0%、続いて東信が41.1%。北信、中信はそれぞれ34.3%、35.9%と4割を下回った。回答者数が少ないものの、参考として地域をさらに細分化すると、リニア長野県駅が建設される飯田市を含む飯田下伊那地域では「期待している」が70.0%と7割を占め、他の地域と大きな差が出た。

■年代別

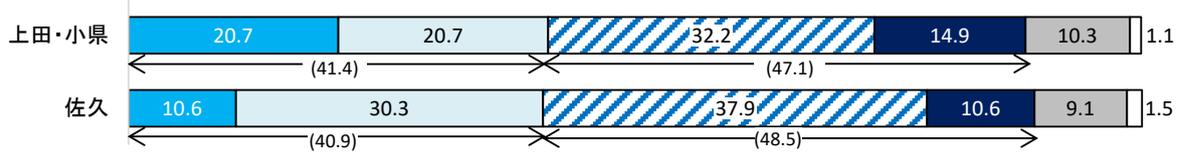


■地域別

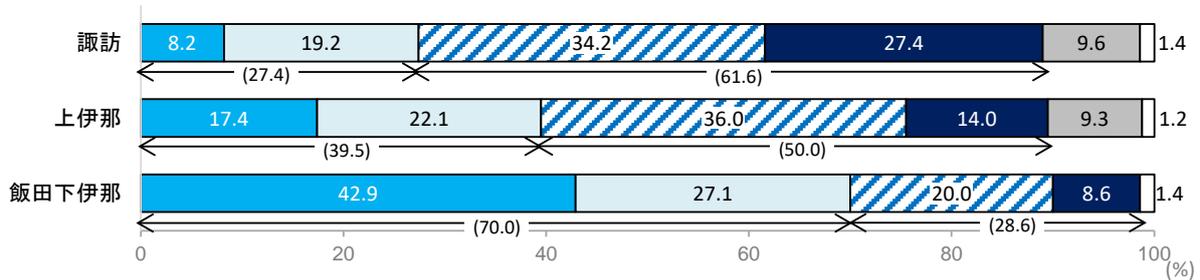


(参考)

■東信2地域別



■南信3地域別



県知事と県議会の望ましい関係は

問17 県知事と県議会の関係は、どうあるべきだと思いますか。次の中から、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

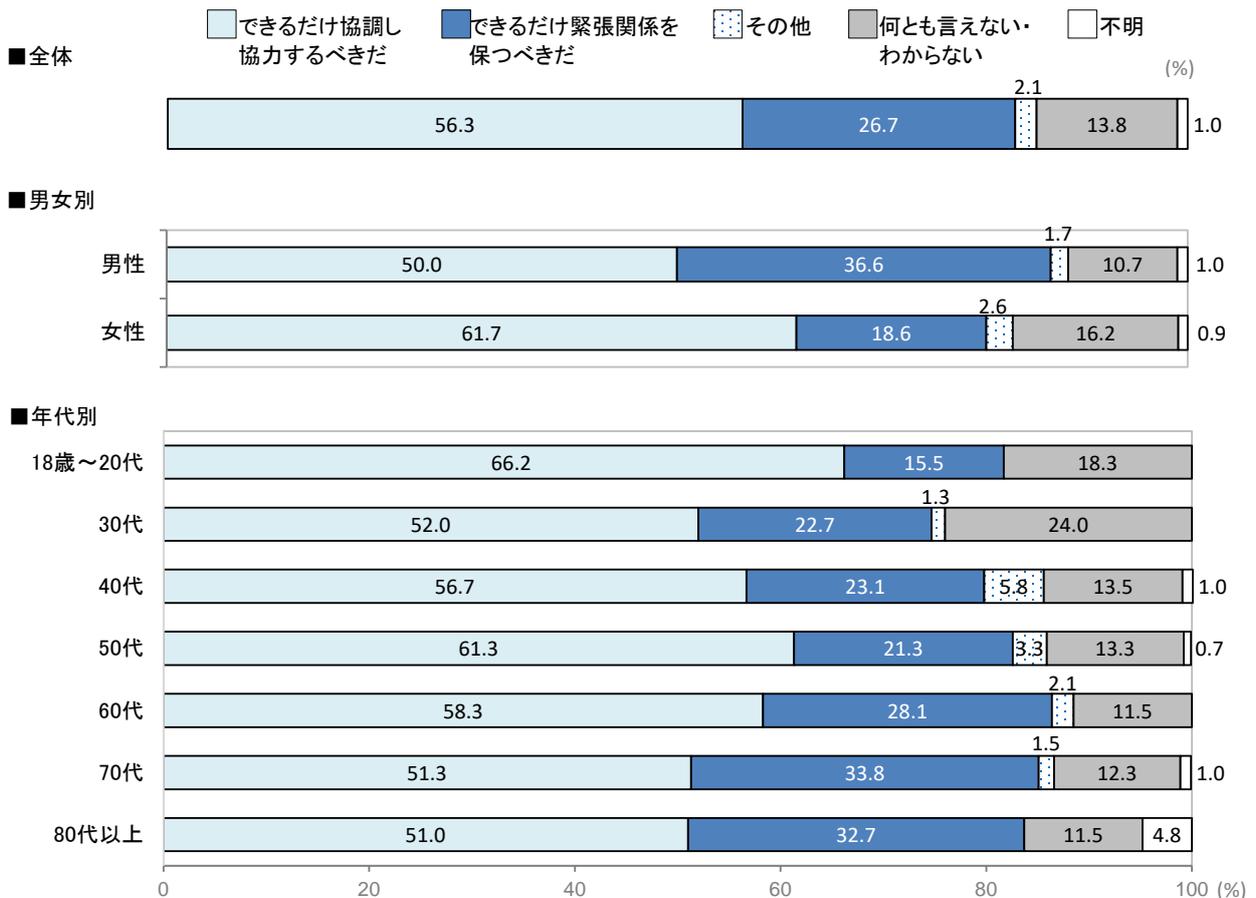
◆「協調協力」56%、「緊張関係」27%

集計表45ページ

「できるだけ協調し協力するべきだ」（協調協力）は56.3%を占め、「できるだけ緊張関係を保つべきだ」（緊張関係）26.7%の2倍強となった。「何とも言えない・わからない」は13.8%だった。

男女別にみると、男性は「協調協力」50.0%、「緊張関係」36.6%と13.4ポイント差だったが、女性は「協調協力」（61.7%）が「緊張関係」（18.6%）の3倍超で43.1ポイントもの差がつき、傾向が分かれた。

年代別にみると、いずれの年代も「協調協力」が5割を上回る。「緊張関係」は18歳～20代（15.5%）が低く、30代から60代にかけては2割を超え、70代、80代以上では3割を超えており、年代が上がるほど「緊張関係」を求める傾向が見えた。



石破内閣を支持しますか

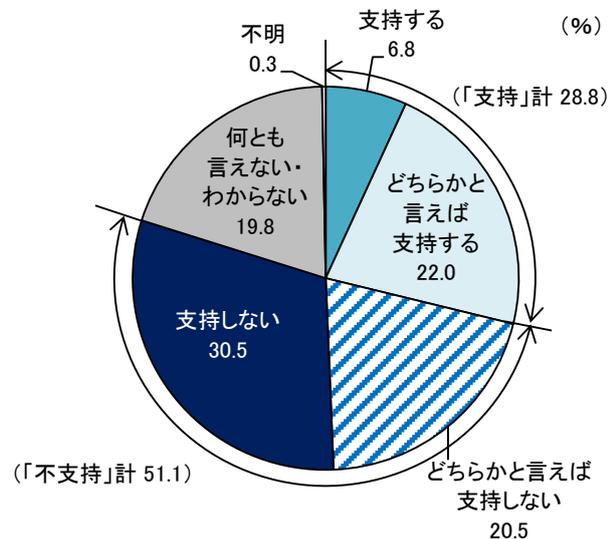
問18 あなたは、石破内閣を支持しますか、支持しませんか。

◆「支持する」「どちらかと言えば支持する」計 29%

集計表46ページ

「支持する」6.8%、「どちらかと言えば支持する」22.0%を合わせた「支持」は計28.8%。一方、「どちらかと言えば支持しない」20.5%、「支持しない」は最多の30.5%で、両者を合わせた「不支持」は計51.1%となった。

年代別にみると、18歳～70代では「不支持」が「支持」を上回ったが、80代以上では「支持」が「不支持」を上回った。支持政党別にみると、自民党支持層と日本維新の会支持層は「支持」が「不支持」を上回った一方、それ以外の党の支持層や無党派層では「不支持」が「支持」を上回った。



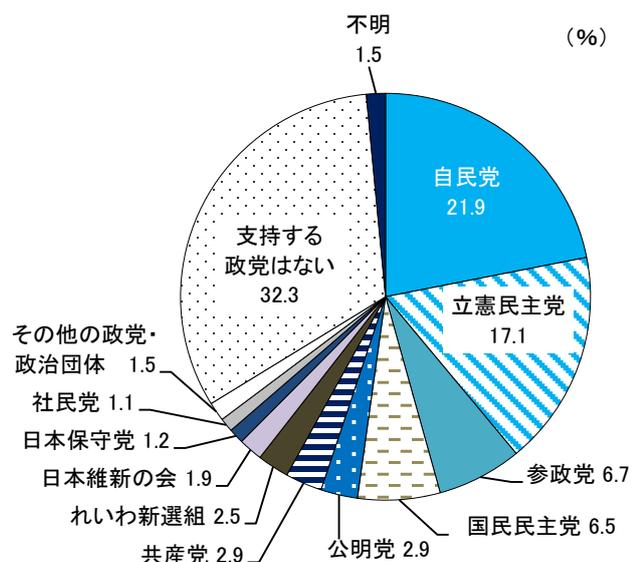
どの政党を支持していますか

問19 あなたは、どの政党を支持していますか。

◆自民 22%、立民 17%

集計表47ページ

自民党が21.9%で、前年の当協会調査「阿部県政14年」(2024年)の18.8%と比べて3.1ポイント上昇した。立憲民主党は17.1%で、前年調査比6.7ポイント上昇した。今年7月の参院選で大きく議席を伸ばした参政党と国民民主党がそれぞれ6.7%、6.5%となり、公明党と共産党が同率で2.9%、れいわ新選組2.5%などと続く。「支持する政党はない」無党派層は32.3%で、前年調査比23.6ポイント下降となった。



Ⅲ 調査票

＜ご回答に際してのお願い＞

- ❖ 封筒の宛名に書かれたご本人様の回答をお願いいたします。
- ❖ ご回答は、選択肢の番号を□の中にご記入ください。
- ❖ ご回答の内容によって、質問をとばしていただく場合があります。その場合は、指示に従ってお進みください。
- ❖ 「その他」の回答は、() 内に内容をご記入ください。

問 1 あなたは、長野県の経済や県民の暮らし向きの現状について、全体としてどのように受け止めていますか。

- ① とても良い
- ② まあ良い
- ③ あまり良くない
- ④ 全く良くない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問 2 あなたは、阿部知事を支持しますか、支持しませんか。

- ① 支持する  問 3 A、問 4 へ
- ② どちらかと言えば支持する  問 3 A、問 4 へ
- ③ どちらかと言えば支持しない  問 3 B、問 4 へ
- ④ 支持しない  問 3 B、問 4 へ
- ⑤ 何とも言えない・わからない  問 4 (次のページ) へ

問 3 A (問 2 で「① 支持する」「② どちらかと言えば支持する」と答えた方にお尋ねします) あなたが、阿部知事を支持する最も大きな理由は何ですか。

- ① 大きな問題がないから
- ② 具体的な成果を上げているから
- ③ 特色のある仕事をしているから
- ④ その他 ()

問 3 B (問 2 で「③ どちらかと言えば支持しない」「④ 支持しない」と答えた方にお尋ねします) あなたが、阿部知事を支持しない最も大きな理由は何ですか。

- ① 問題が目立つから
- ② 具体的な成果を上げていないから
- ③ 特色のある仕事をしていないから
- ④ その他 ()

(全員の方にお尋ねします)

問4 あなたは日ごろ長野県政を身近に感じていますか、いませんか。

- ① とても身近に感じている
- ② ある程度身近に感じている
- ③ あまり身近に感じていない
- ④ 全く身近に感じていない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問5 阿部知事は現在4期目で、阿部県政は8月末で丸15年となります。来夏には県知事選が控えています。選挙に関して、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- ① 阿部知事に期待する
- ② 他の立候補者に期待する
- ③ どのような人が立候補するかを見て、総合的に判断する
- ④ その他 ()
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問6 阿部県政は、どんな施策に力を入れるべきだと思いますか。次の中から、4つ以内で選んでください。

- ① 環境・エネルギー政策
- ② インバウンド（訪日客）の受け入れ
- ③ 教育・子育て支援
- ④ 景気・雇用
- ⑤ 行財政改革
- ⑥ 人口減少対策
- ⑦ 製造業の振興
- ⑧ 地域公共交通の存続、発展
- ⑨ 農林業の振興
- ⑩ 福祉・介護・医療
- ⑪ 物価高対策
- ⑫ 感染症対策
- ⑬ 防災
- ⑭ その他 ()
- ⑮ 何とも言えない・わからない

| |
|--|
| |
| |
| |
| |

問 7 長野県は、県政運営の指針である総合計画「しあわせ信州創造プラン3.0」(2023～27年度の5カ年)に、次の8つの「新時代創造プロジェクト」を掲げており、本年度は折り返しの年に当たります。プロジェクトから、あなたが特に期待したいと思うものがあれば、2つ以内で選んでください。

- ① 女性・若者から選ばれる県づくり
- ② ゼロカーボン加速化
- ③ デジタル・最先端技術活用推進
- ④ 個別最適な学びへの転換
- ⑤ 人口減少下における人材確保
- ⑥ 世界で稼ぎ地域が潤う経済循環実現
- ⑦ 県内移動の利便性向上
- ⑧ 輝く農山村地域創造
- ⑨ 期待するものはない
- ⑩ 何とも言えない・わからない

| |
|--|
| |
| |

問 8 長野県の観光振興について、うかがいます。長野県は「世界水準の山岳高原観光地づくり」を目指していますが、長野県の観光地としての魅力を高めるために、あなたが、特に力を入れるべきだと思う施策を、次の中から、3つ以内で選んでください。

- ① インバウンド(訪日客)向けの観光案内の充実
- ② ガイドやDMO(観光地域づくり法人)などの人材育成
- ③ 観光地の廃屋撤去や沿道の樹木伐採による景観整備
- ④ 拠点の駅や空港から観光地までの交通の確保
- ⑤ 県外、海外へのデジタルマーケティングによる発信
- ⑥ 自然環境保全活動の推進
- ⑦ 宿泊施設のバリアフリー化や上質化
- ⑧ 伝統的工芸品などの体験アクティビティ化
- ⑨ 登山道の維持・管理
- ⑩ バックカントリーなどを含む山岳遭難防止対策
- ⑪ オーバーツーリズム(観光公害)対策
- ⑫ その他()
- ⑬ 観光地としての魅力を高める必要はない
- ⑭ 何とも言えない・わからない

| |
|--|
| |
| |
| |

問 9 長野県は、2026年6月から県内の旅館やホテルに宿泊した人から一定額を徴収する「宿泊税」の導入を決めました。税収は観光振興に充て、一部を市町村に県交付金として支給し、地域ごとに取り組む施策の財源とする考えです。あなたはこうした県の政策を支持しますか、それとも支持しませんか。

- ① 支持する
- ② どちらかと言えば支持する
- ③ どちらかと言えば支持しない
- ④ 支持しない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

| |
|--|
| |
|--|

問10 長野県の観光を盛んにすることによって、県内経済全体への波及効果は、どの程度あると思いますか。

- ① とてもあると思う
- ② ある程度あると思う
- ③ あまりないと思う
- ④ 全くないと思う
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問11 長野県の人口は2024年2月におよそ半世紀ぶりに200万人を下回りました。2001年の222万人をピークに減少が続いています。県として、どのような少子高齢化対策・人口減少対策を進めるべきだと思いますか。次の中から、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- ① 市町村に対する財政的支援や制度設計などを主導的に進める
- ② 市町村や民間団体との連携を強化・支援する
- ③ 県民一人ひとりの意識改革を促す啓発活動を行う
- ④ 対策を進める必要はない
- ⑤ その他 ()

問12 長野県は2024年の都道府県別ジェンダーギャップ（男女格差）指数で、政治分野で全国19位、行政22位、教育15位、経済26位でした。県の「人口戦略」は、2030年までに各項目を全国の上位10位以内に引き上げることを掲げ、性別による固定的な役割や格差解消に向け、職場や地域の取り組みを強化するとしています。あなたは長野県の施策によって、これらの目標がどの程度実現できると思いますか。

- ① 大いに実現できると思う
- ② ある程度実現できると思う
- ③ あまり実現できないと思う
- ④ 全く実現できないと思う
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問13 長野県は、2050年までに県内の二酸化炭素（CO₂）排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボン（脱炭素）」達成を目指しています。あなたは、これを支持しますか、支持しませんか。

- ① 支持する → 問14、問15へ
- ② どちらかと言えば支持する → 問14、問15へ
- ③ どちらかと言えば支持しない → 問15へ
- ④ 支持しない → 問15へ
- ⑤ 何とも言えない・わからない → 問15へ

問14 (問13で「① 支持する」「② どちらかと言えば支持する」と答えた方にお尋ねします)
 長野県が県内の二酸化炭素(CO₂)排出量実質ゼロを達成するには、特に、どんなことが必要だと思いますか。次の中に、あなたの考えにあてはまるものがあれば、いくつでも選んでください。(該当する番号の左側に○印をお付けください)

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | ① 県内の豊富な河川を十分に活用し、水力発電を増やす |
| <input type="checkbox"/> | ② バス、鉄道など公共交通を支援し、マイカー利用を減らす |
| <input type="checkbox"/> | ③ 自転車走りやすい道路を大幅に増やす |
| <input type="checkbox"/> | ④ 建物の断熱化費用の負担を軽くする |
| <input type="checkbox"/> | ⑤ 太陽光発電パネルの設置費用の負担を軽くする |
| <input type="checkbox"/> | ⑥ 太陽光発電パネルの適正な廃棄やリサイクルを推進する |
| <input type="checkbox"/> | ⑦ 二酸化炭素を吸収する森林の整備を加速させる |
| <input type="checkbox"/> | ⑧ 風力、バイオマス(生物資源)、地熱発電を増やす |
| <input type="checkbox"/> | ⑨ 電気自動車や燃料電池車の普及を促進する |
| <input type="checkbox"/> | ⑩ その他() |
| <input type="checkbox"/> | ⑪ 何とも言えない・わからない |

(全員の方にお尋ねします)

問15 あなたは、県内で進められている県立高校の再編や学科、カリキュラムづくりを評価しますか、評価しませんか。

- ① 評価する
- ② どちらかと言えば評価する
- ③ どちらかと言えば評価しない
- ④ 評価しない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問16 リニア中央新幹線は、東京・品川—大阪間を結ぶ計画で、建設中の品川—名古屋間のうち長野県内は飯田市で駅が建設中です。飯田—品川間を45分、飯田—名古屋間を25分で結ぶ計画ですが、工事の遅れから開業時期は2027年から延期され、少なくとも2035年以降となる見込みです。あなたは、リニア中央新幹線にどの程度期待していますか。

- ① 大いに期待している
- ② ある程度期待している
- ③ あまり期待していない
- ④ 全く期待していない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問17 県知事と県議会の関係は、どうあるべきだと思いますか。次の中から、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- ① できるだけ協調し協力すべきだ
- ② できるだけ緊張関係を保つべきだ
- ③ その他()
- ④ 何とも言えない・わからない

問18 あなたは、石破内閣を支持しますか、支持しませんか。

- ① 支持する
- ② どちらかと言えば支持する
- ③ どちらかと言えば支持しない
- ④ 支持しない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問19 あなたは、どの政党を支持していますか。

- ① 自民党
- ② 立憲民主党
- ③ 国民民主党
- ④ 公明党
- ⑤ れいわ新選組
- ⑥ 日本維新の会
- ⑦ 共産党
- ⑧ 参政党
- ⑨ 社民党
- ⑩ 日本保守党
- ⑪ その他の政党・政治団体
- ⑫ 支持する政党はない

＜ありがとうございました＞

これからお聞きする事柄は、結果をまとめる上で必要となります。
お手数ですが、引き続き、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

F 1 あなたの性別 ① 男性 ② 女性 ③ 回答しない

F 2 あなたの年代 ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上

F 3 あなたの職業 ① 事務系、技術系従事者 ② 現業・サービス業系従事者 ③ 役員・管理職・自由業 ④ 商工・自営業 ⑤ 農・林・漁業 ⑥ 専業主婦・主夫 ⑦ パート・アルバイト ⑧ 学生 ⑨ 無職 ⑩ その他 ()

F 4 現在の日本の社会の暮らし向きを6つに分けるとすれば、あなたのご家庭はどのあたりに入るとお考えですか

- ① 上の上 ② 上の下 ③ 中の上 ④ 中の下 ⑤ 下の上 ⑥ 下の下

本ホームページでは、報告書の一部を抜粋して掲載しています。長野県世論調査協会の会員の皆様には、報告書を郵送・電子メールでお届けしており、全ての調査結果をご覧いただくことができます。入会のお問い合わせは、[こちら](#)へどうぞ